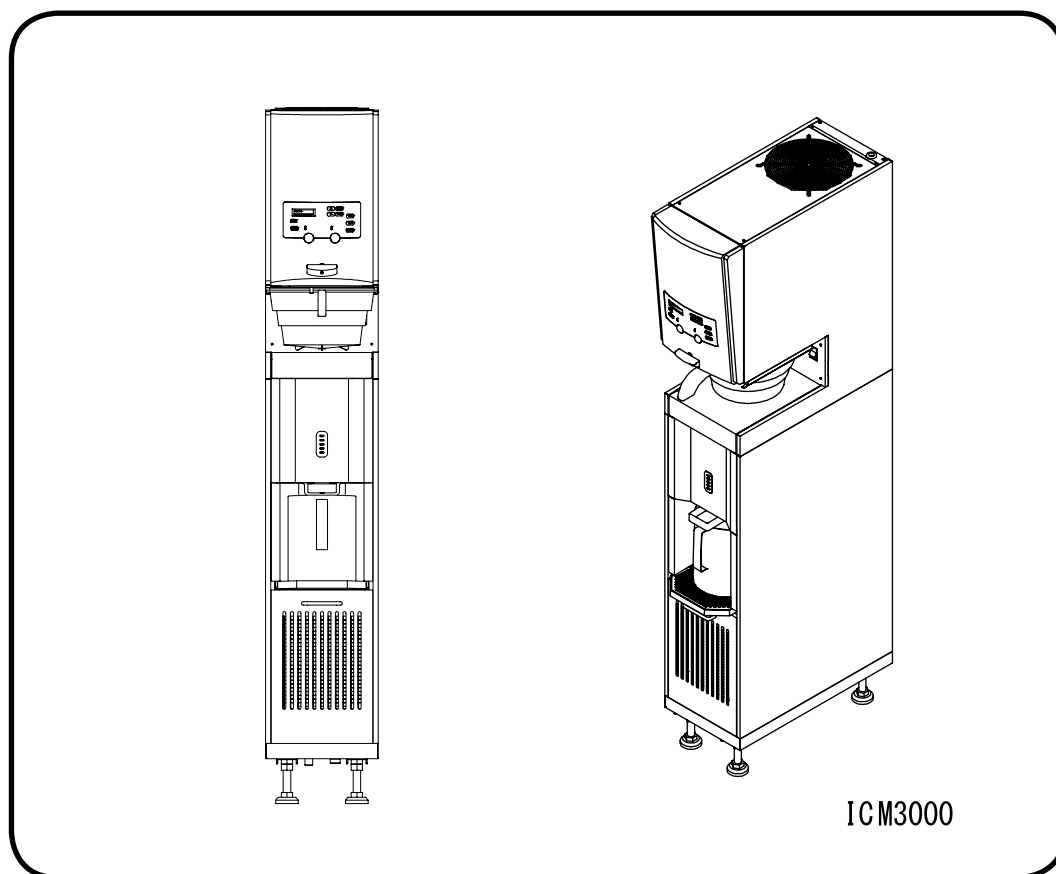


ICM3000

お客様用

— 取扱説明書 —

型式：ICM3000（業務用）



- このたびは、当社のアイスコーヒーマシン「ICM3000」をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必ずいつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。
必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。
- 製品と本内容は予告なく変更されることがあります。
ご了承くださいますようお願い致します。

保証書付

目 次

本機をお使いになる前に 1

安全上のご注意	1
本機の使用にあたって、必ず守ってください	2
各部の名称とはたらき	4
マシン全体名称	4
コントロールパネル名称	5
パーツ名称	6

第1章 抽出のしかた 7

本機の操作時には必ず守ってください	7
本機の立ち上げかた	8
アイスコーヒーの抽出のしかた	13
アイスコーヒーの取り出しかた	16

第2章 洗浄・清掃のしかた 17

本機の洗浄・清掃時には必ず守ってください	17
毎日おこなう洗浄と清掃	19
Daily Close Operation（手動）	19
Daily Close Operation（半自動）	29
週に1～2回おこなう洗浄と清掃	41
吸気フィルター清掃	41
集合排水清掃	44

第3章 お手入れと点検 47

第4章 プログラム設定について 48

プログラムの設定のしかた	49
基本動作プログラムの設定変更のしかた	49
半自動洗浄プログラムの設定変更のしかた	54
手動洗浄プログラムの設定変更のしかた	55
ドリップ流量の調整	56
一次冷水量の調整	56

第5章 据付けについて 57

本機の据付け時には必ず守ってください	57
据付工事	58
配管用部品	58
据付前の準備	58
据付け	62
レイアウト	62
据付・接続	63
据付後の動作確認	66
仕 様	68
商品保証書	69



本機をお使いになる前に

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。




表示と意味は次のようになっています。

【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

【図記号の例】

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

本機の使用にあたって、必ず守ってください



警 告

- 漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動したときは、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。



連絡

- 異常時は電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF(切)』にしてすぐにお買上げ店に連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。



専用電源切

- 機械内部の電気装置や配線に触らないこと

やけどや感電の恐れがあります。



接触禁止

- ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること

換気扇のスイッチを入れたりしますと、引火爆発し、危険です。



ガス栓閉

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理は行わないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災の原因になります。



分解禁止

- 改造は絶対に行わないこと

改造をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。



改造禁止

- 移設は専門業者か、お買上げ店に相談すること

据え付け不備があると、水漏れ、感電、火災などの原因になります。



専門業者

- 廃却は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。



専門業者

本機の使用にあたって、必ず守ってください



注 意

- 自動洗浄時に停電や何らかの状態により、自動洗浄が中断された場合は
すすぎ又は最初から自動洗浄をすること



自動洗浄

- 本機の上に何も置かないこと

機器の熱を排出しています。上面に物を置くと機器が正常に作動しません。



禁止

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと

発火の原因になることがあります。



可燃物禁止

- 本機にもたれたり、乗ったりしないこと

やけどや本機転倒によるケガの原因になります。



禁止

- 点検するときは、必ず電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF(切)』
にすること

感電したり、ケガの原因になることがあります。



専用電源切

- 電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って
抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、
火災、感電の原因になることがあります。



禁止

- 一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切って、本
機専用電源も『OFF(切)』にし、電源プラグを使用の場合は、コンセントか
ら抜くこと

発熱、発火の原因になることがあります。



専用電源切

- 漏電遮断器は月に1回、動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になること
があります。



動作確認

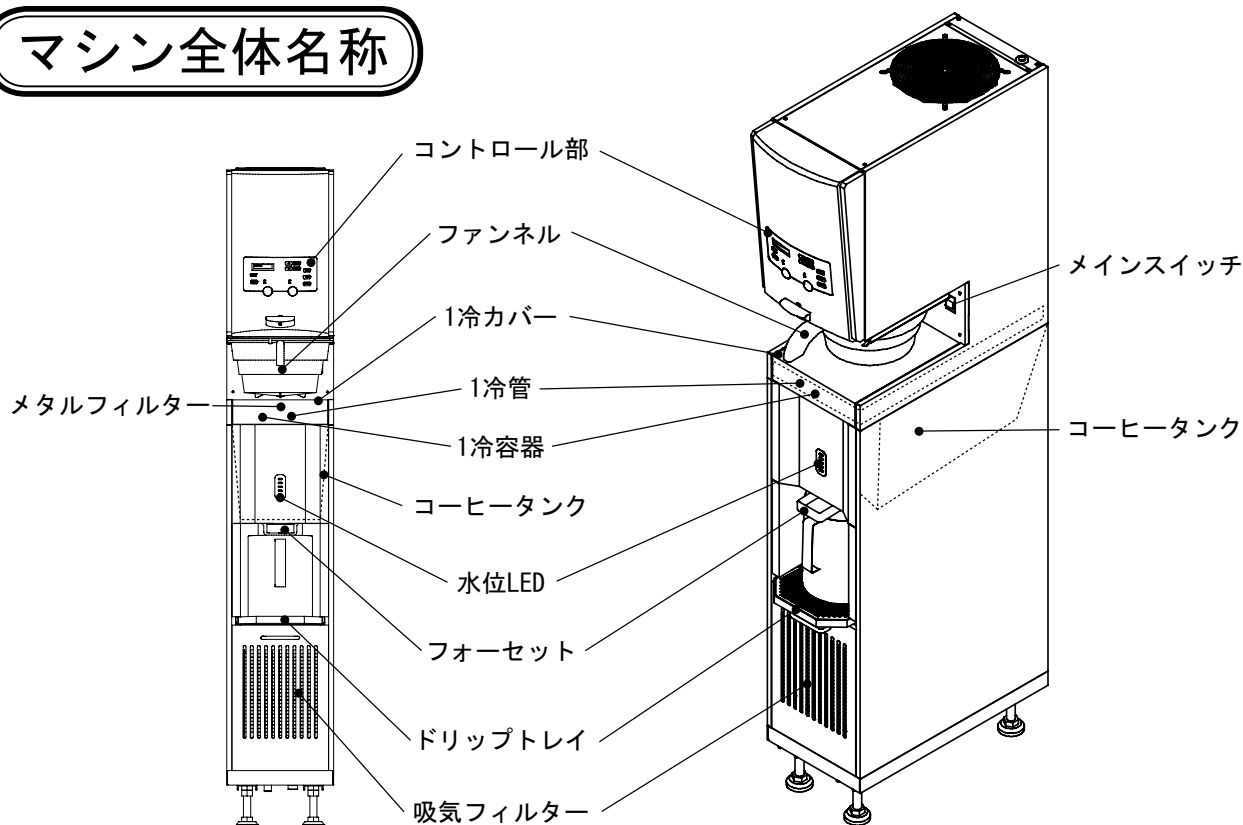
- 本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な
正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ
止めすること



テープ止め

各部の名称とはたらき

マシン全体名称



コントロール部

アイスコーヒーの抽出や洗浄などに関わる操作をすることができます。

ファンネル

コーヒー粉を入れたペーパーフィルターをここにセットします。

1 冷カバー

コーヒータンクへの異物防止と、メタルフィルター取り付けの為に必要です。

1 冷管

給水が通過してコーヒーのあら熱をとります。

1 冷容器

抽出したコーヒーのあら熱を容器内でとります。

コーヒータンク

抽出したアイスコーヒーを保冷しておきます。

水位 LED

コーヒータンク内の残量が確認できます。

フォーセット

レバーの前後でアイスコーヒーの取出しを行えます。

ドリップトレイ

コーヒータンクからの取出しの際に容器などをここに置きます。

吸気フィルター

冷却に使用しています。

メインスイッチ

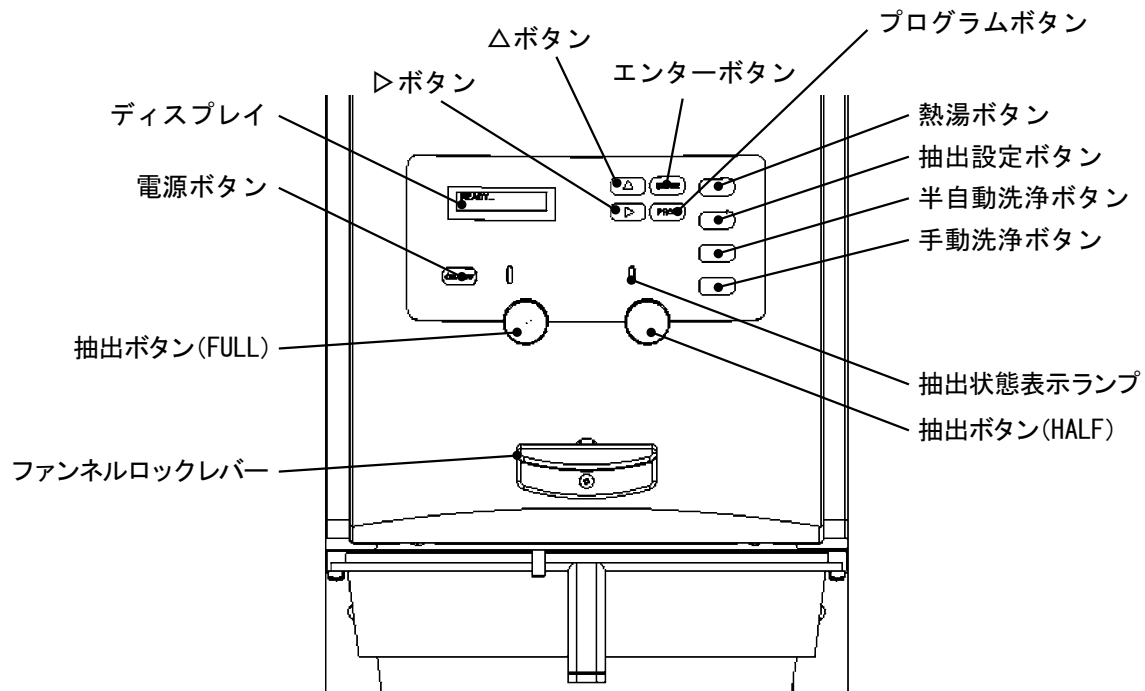
ON にすると通電した状態になります。

メタルフィルター

コーヒータンク内への異物混入を防止します。

各部の名称とはたらき

コントロールパネル名称



ディスプレイ

現在の機械の状態を表示します。また各種のメッセージやプログラムの設定内容を表示します。

電源ボタン

電源を ON/OFF します。(本体にあるメインスイッチが ON になっていれば、電源ボタンが OFF になっていても機械は通電した状態になります。)

抽出ボタン (FULL/HALF)

アイスコーヒーの抽出をおこないます。もう一度押すとキャンセルができます。ファンネルロックレバーが上がっているときは反応しません。

ファンネルロックレバー

抽出する場合はファンネルロックレバーを下げてから行う必要があります。また、抽出途中にレバーを上げると安全機能が働き、抽出が途中停止します。

△ボタン

プログラム設定の際、設定値を大きくします。

抽出状態表示ランプ

抽出の準備ができていないかなどを表示します。

▷ボタン

プログラム設定の際、カーソルを移動します。

エンターボタン

プログラム設定の際、設定内容を登録します。

プログラムボタン

プログラム設定時に使用します。

熱湯ボタン

マシン内にお湯のみを入れ、湯通しをします。

抽出設定ボタン

抽出ボタン (FULL/HALF) は、アイスコーヒーを抽出する時の湯かけ方法を設定できます。(P00 ~)

半自動洗浄ボタン

デイリークローズオペレーション (半自動) が行えます。(P29 ~)

手動洗浄ボタン

デイリークローズオペレーション (手動) が行えます。(P19 ~)

パーツ名称



シャワープレート



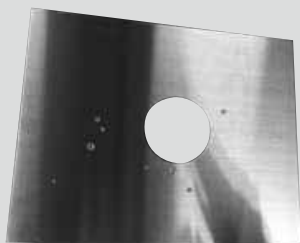
インナープレート

シャワーのお湯を拡散します。



ファンネル

コーヒー粉を入れたペーパーフィルターをここにセットします。

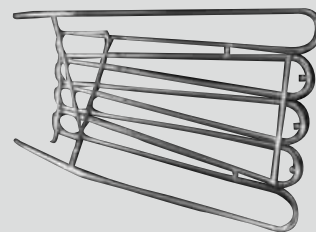


1冷カバー



メタルフィルター

コーヒータンクにコーヒー粉が入るのを防ぎます。



1冷管

コーヒーのあら熱をとります。



1冷容器

できあがったコーヒーのあら熱を取り除く容器です。



フォーセット

できあがったコーヒーを取り出すノズルです。



フォーセットレバー

フォーセットを動かすためのレバーです。



オーリング

フォーセットに取り付けが必要な部品です。



攪拌パドル

コーヒー冷却用のパドルです。



吸気フィルター

冷却システムのフィルターです。

1

抽出のしかた

この章ではアイスコーヒーの抽出のしかたについて説明します。

本機の操作時には必ず守ってください



警告

- 濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）の電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。



濡れ手禁止



注意

- 排水管に詰まりがないか始業時に点検を行うこと

排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。



排水点検

- 断水のときは、電源スイッチを『OFF(切)』にし、水道栓を閉めること

開けておくと通水時“赤水”が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。



断水時閉弁

- 断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。



水入れ替え

- ファンネルの中には、コーヒー粉以外のものは入れないこと

本機は、コーヒーの抽出を目的として作られています。それ以外の用途には使用しないでください。



禁止

- 専用のコーヒーファンネルを外す際

専用のコーヒーファンネル内に、お湯又はコーヒーが残っている場合などは機器より取り外しの際、やけどの原因になる事があります。



ファンネル

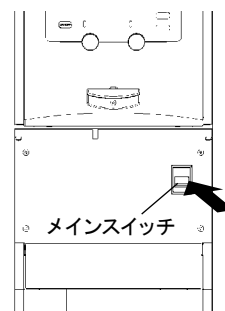
本機の立ち上げかた

1 本体の「メインスイッチ」を ON にします

- 「メインスイッチ」を上側にたおし、ON にします。

メモ

メインスイッチを2日以上切ったままにすると、日付、曜日、時刻が工場出荷時の設定に戻ります。このときは、P00「日付と時刻の設定」を参照して現在の日付と時刻に設定しなおしてください。



約2秒後、右のような表示が出ます。

現在の日付、曜日、時刻です。

2016/05/19 THU
Ver 1.00 15:25

本機のプログラムのバージョンです。

2 「電源ボタン」を ON にします

- ① コントロールパネル内にある「電源ボタン」を ON にします。

ディスプレイに右のような表示があらわれます。
自動的に温水タンクに給水され、約5分で給水、昇温が始まります。

WARM UP

- ② 温水タンク内の昇温が完了すると、抽出ボタン部の「抽出状態表示ランプ」が緑色に点灯してコーヒーの抽出が可能になります。
昇温には約10分かかります。(水温により多少異なります)

DRIP OK

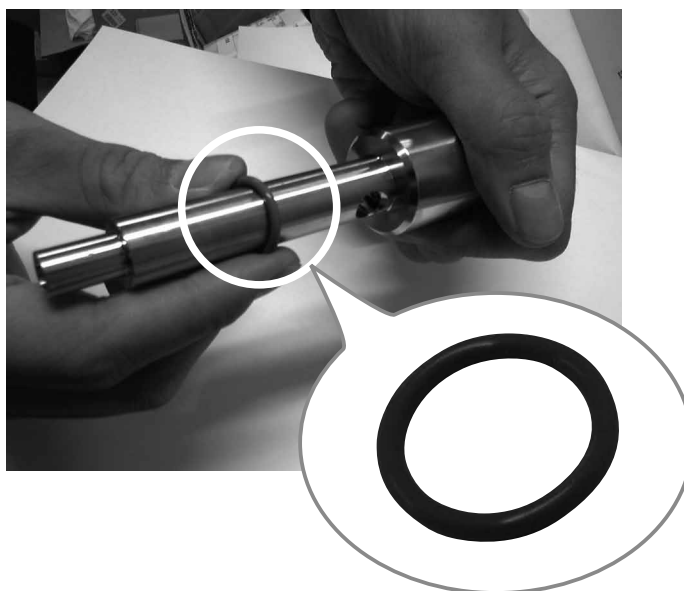
3 攪拌パドルをセットします



4 フォーセットにオーリングをセットします

オーリングをフォーセットに取付ける際は根もとまでしっかりと取り付けてください

この時、食器洗浄機で洗浄したオーリングは、コーヒーが漏れる原因になります。

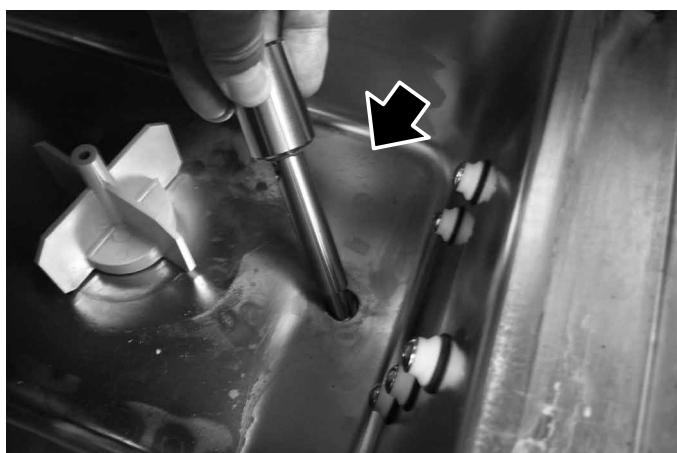


5 フォーセットレバーをセットします



6 フォーセットをタンクに差込セットします

この時ノズルが正常にセットされているか確認のため一度レバーを引いて、再度押してタンク内のコーヒーが漏れないようにしてください



7 1 冷容器を取り付けます



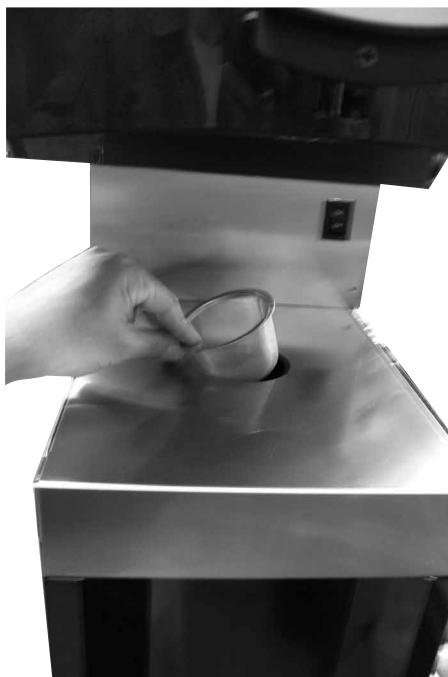
8 1 冷管を取り付けます

1 冷パイプを取り付けるさいは、二箇所差し込み口へしっかりとロックがかかるように取り付けてください

注意
食器洗浄機で洗った1冷管は、破損している可能性がありますので、不具合が無いか確認してください。
(一冷管は食器洗い洗浄器を使用すると破損いたします)



9 1 冷カバーとメタルフィルターを取り付けます



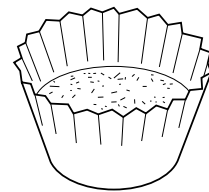
アイスコーヒーの抽出のしかた

1 アイスコーヒー粉をセットします。

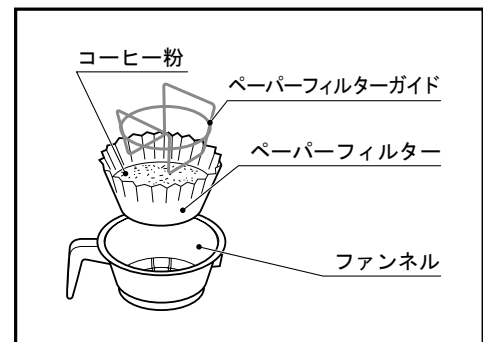
- ① ペーパーフィルター（1枚）に抽出量に応じた量のアイスコーヒー粉（以下、コーヒー粉と呼びます。）を入れます。

メモ

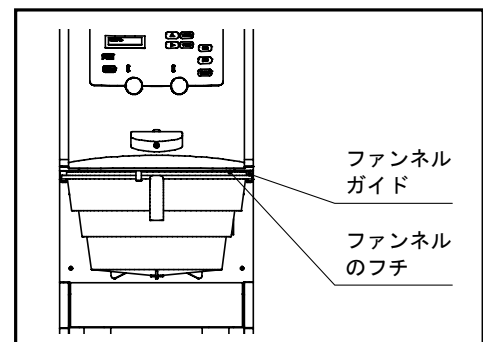
ペーパーフィルターは必ず1枚でご使用ください。誤って2枚重なったまま使用しますと、ファンネル上端よりコーヒーが溢れ、やけどの原因になることがあります。



- ② コーヒー粉を入れたペーパーフィルターをファンネルにセットします。
- 抽出ではペーパーフィルターが内側に倒れないように、ペーパーフィルターガイドを装着してください。
 - ペーパーフィルター内のコーヒー粉が平らになるようにファンネルを軽く左右にゆすってください。



- ③ ファンネルを本体にセットします。ファンネルは、ファンネルガイドの上にファンネルのフチが乗るように正しく装着してください。



2 ファンネルロックを下ろします

この時「DRIP OK」と表示されれば抽出可能です。

DRIP OK

3 「抽出状態表示ランプ」が点灯していることを確認します。

4 必要な抽出ボタンを押す

あらかじめ設定されている抽出ボタン（FULL/HALF）を押す（どちらか一方）



ドリップ中は抽出状態表示ランプが緑色で点滅します。



本機の立ち上げかた／アイスコーヒーの抽出のしかた

抽出中、ディスプレイには現在の抽出段階が表示されます。抽出中のディスプレイの表記はそれぞれ下記の内容をあらわしています。

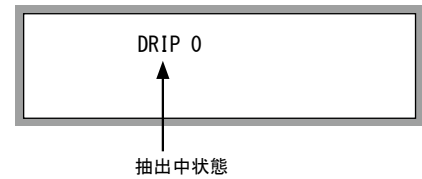
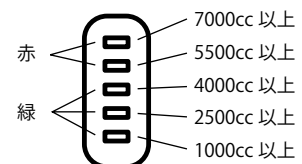


表 示	内 容	表 示	内 容
DRIP 0	給湯（1回目）	DRIP 5	休止（2回目）
DRIP 1	蒸らし	DRIP 6	給湯（4回目）
DRIP 2	給湯（2回目）	DRIP 7	後ダレおよび冷水流水
DRIP 3	休止（1回目）	DRIP レイキャク	冷却のみ稼働
DRIP 4	給湯（3回目）		

5 抽出が完了します。

抽出が完了するとピー音が鳴り、抽出完了をお知らせします。ディスプレイの表示は「WARM UP」もしくは「DRIP OK」に戻ります。抽出したコーヒーの量に応じて「水位 LED」が点灯します。



アイスコーヒーの取り出しかた

1 フォーセットの下に容器を置きます。

フォーセットを引きます

フォーセットを引いている間、出来上がった
コーヒーを取り出す事ができます。



2

洗淨・清掃のしかた

本機の洗淨・清掃時には必ず守ってください



警告

- 自動洗淨以外の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを『OFF(切)』にして、本機専用電源も『OFF(切)』にすること

感電したりやけどの原因になることがあります。



専用電源切

- 電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



禁止

- 電源プラグを使用している場合は、刃及び刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検清掃

- 本機に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。



水掛け禁止

- 濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）の電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。



濡れ手禁止

- コーヒーの抽出直後に、シャワープレートを外さないこと

シャワープレート内に残っている熱湯が落ちてきて、やけどの原因になります。



禁止



注 意

- 毎日必ず「半自動洗浄」もしくは「手動洗浄」もしくは「洗浄」洗浄をおこなうこと

洗浄しない場合、雑菌が繁殖して健康障害の原因になることがあります。



洗浄

- 付属の酸素系漂白剤「バブルクリーン」は、口に入れたり、飲み込んだりしないこと

健康障害の原因になります。



禁止

- 洗浄中（酸素系漂白剤「バブルクリーン」投入時）は、電源を切らないこと

コーヒータンク内に洗浄液が残ったままになり、次に抽出するコーヒーに洗浄液が混ざり健康障害の原因になります。



注意

毎日おこなう洗浄と清掃

Daily Close Operation (手動)



警告

- ◆作業時は、火傷に注意してください。
- ◆洗剤手荒れや怪我防止のため、必ずゴム手袋を着用してご使用ください。
- ◆作業時は、保護メガネを着用してご使用ください。

1 手動洗浄ボタンを3秒間長押しする

「ススキカイン OK」表示を確認する。



ススキ カイン OK?

2 パーツを取り外す

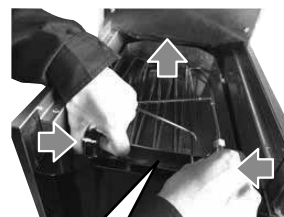
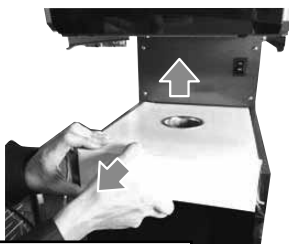
ファンネル・シャワープレート・1 冷カバー・メタルフィルター・1 冷管・1 冷容器・パドル



ファンネルロックレバーを上げてファンネルを引き抜いて下さい。



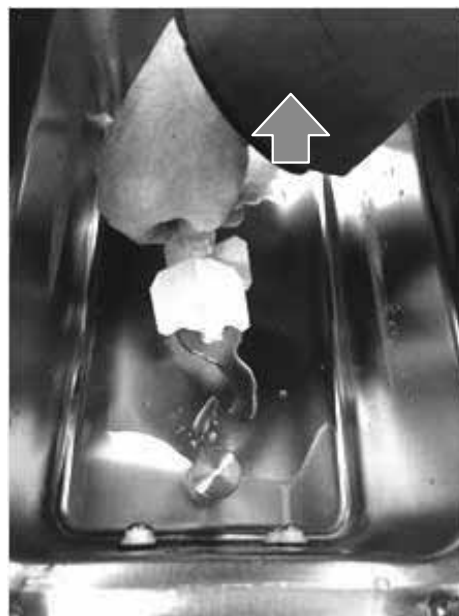
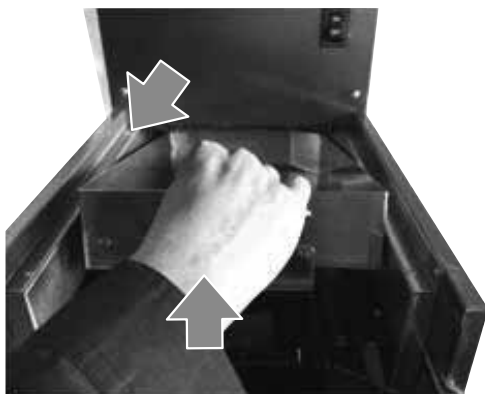
シャワープレートを回してロック解除し外して下さい。



1 冷管の左右ロック解除ボタンを押しながら上に外して下さい。

3 パーツを取り外す

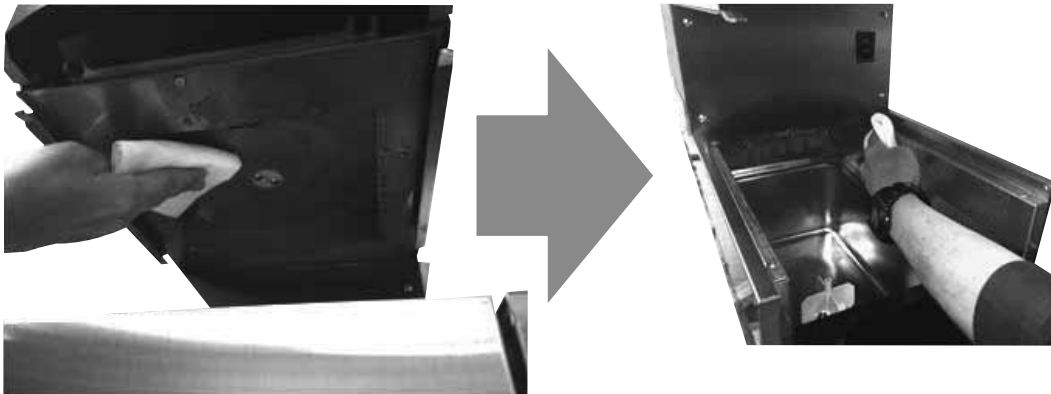
ファンネル・シャワープレート・1 冷カバー・メタルフィルター・1 冷管・1 冷容器・パドル



4 5Lビーカーに水4Lとカフェウォッシュ40ccを入れて コーヒータンクに投入する



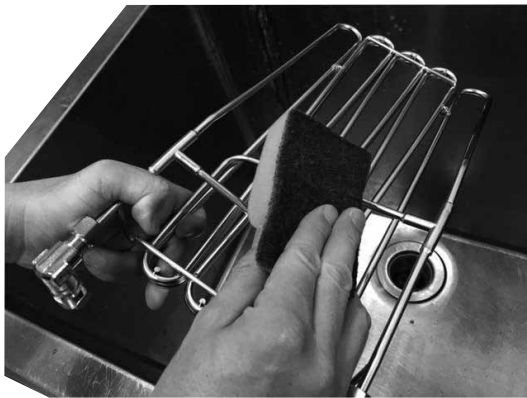
5 シャワー部・1 冷部は、コーヒー汚れを拭き掃除する



6 ファンネル・シャワープレート・1 冷カバー・
メタルフィルター・1 冷容器は、洗浄機で洗う



7 1 冷管・攪拌パドルは、手洗いする



注意
1 冷管、攪拌パドルを食器洗浄機に入
ると、ACジョイント、攪拌パドルが破損
します。
絶対にやめてください。

ACジョイント

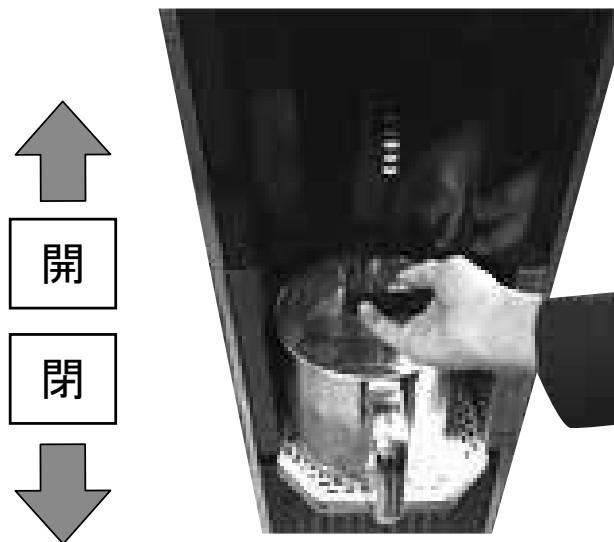


8 コーヒータンクを専用ブラシで擦り洗いする。



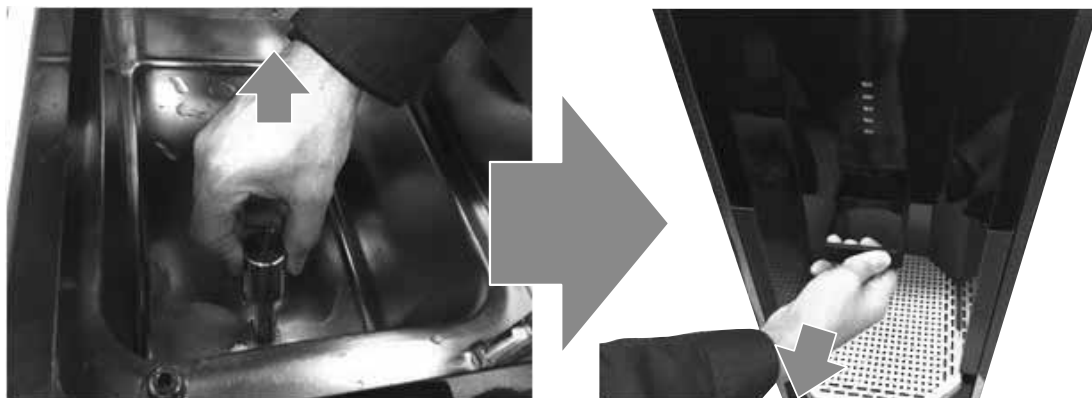
9

コーヒータンク内の洗浄液を抜く

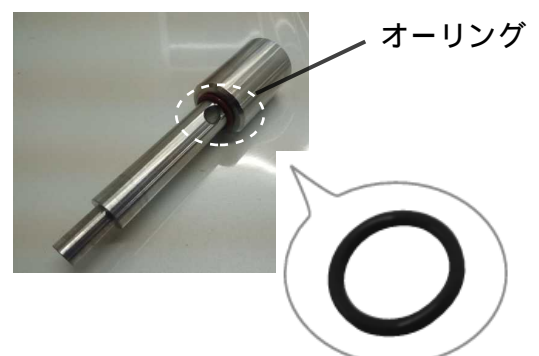


10

フォーセット・フォーセットレバーを取り外し、中性洗剤にて手洗いする

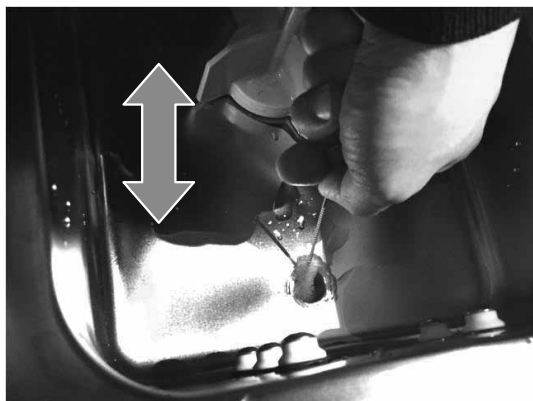


注意
 フォーセットオーリングは、**食器**
 洗浄機に入れると切れたり、**硬化**
 し、破損の原因になります。

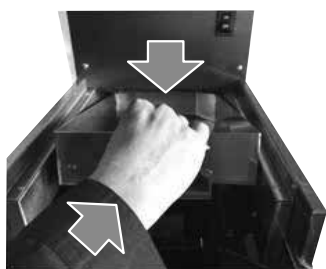


11 コーヒーパイプをブラシで洗浄し、フォーセットレバー部を拭き掃除しフォーセット・フォーセットレバーを取付ける

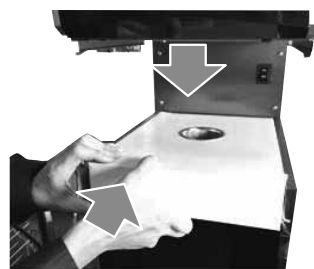
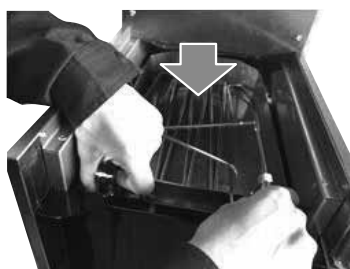
フォーセットのオーリングは中性洗剤にて、手洗いをお願いします。洗浄器などに入れると、破損する恐れがあります。



12 パーツを取り付ける



1 冷管の左右ロック解除ボタンがカチッというまで押し込んでください。



ファンネルロックレバーが上がっている事を確認して下さい。



13 手動洗浄ボタンを押してすすぎ動作開始



14 「ススギセンジョウ 1」表示になり、洗浄動作が開始されます

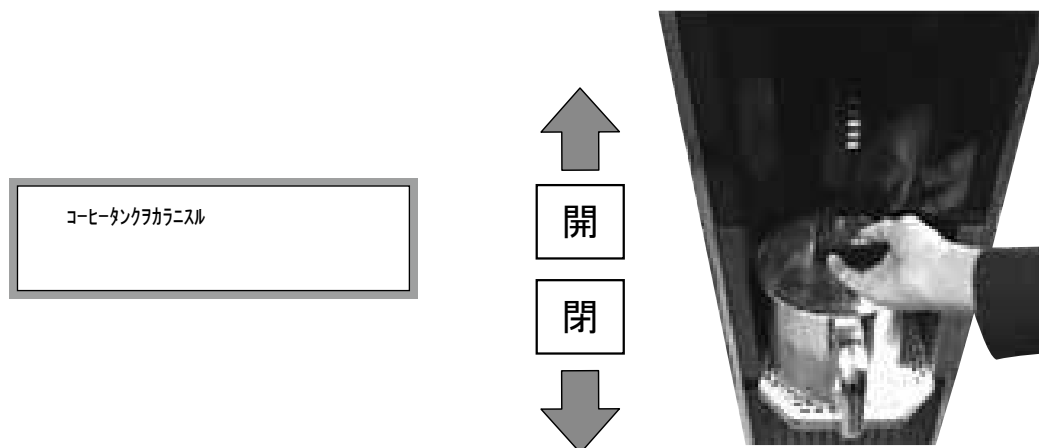
10 分浸け置き洗浄終了後、「ピー音」が鳴り「ススギセンジョウシュウリョウ」表示確認し手動洗浄ボタンを押す。

ススキ センジョウ 1

ススキ センジョウ
シュウリョウ

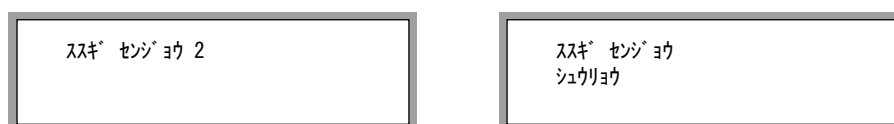
15 「コーヒータンクヲカラニスル」表示を確認しフォーセットレバーを引きコーヒータンクを空にする

空にしたらレバーを戻し、手動洗浄ボタンを押す。



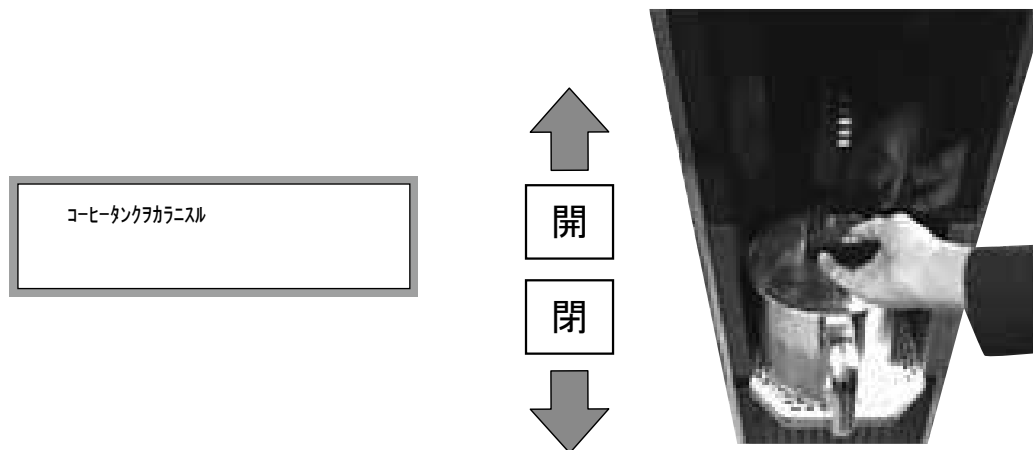
16 「ススギセンジョウ 2」表示になり、洗浄動作が開始されます

10分浸け置き洗浄終了後、「ピー音」が鳴り「ススギセンジョウシュウリョウ」表示確認し手動洗浄ボタンを押す。



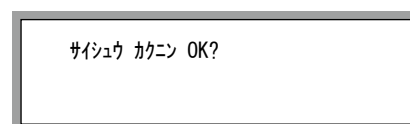
17 「コーヒータンクヲカラニスル」表示を確認しフォーセットレバーを引きコーヒータンクを空にする

空にしたらレバーを戻し、手動洗浄ボタンを押す。



18 「サイシュウカクニン OK」表示を確認し、タンク内に残りが無いかパーツ付け忘れが無いか確認し、問題なければ手動洗浄ボタンを押す

空にしたらレバーを戻し、手動洗浄ボタンを押す。



19 待機画面になった事を確認し終了



※すすぎ洗浄の排水は、5L ビーカーを置いたままでオーバーフローさせて排水すると楽になります。
5L ビーカーの排水は、最後のすすぎ終了してから捨てる手間が少なくなります。

Daily Close Operation (半自動)



- ◆作業時は、火傷に注意してください。
- ◆洗剤手荒れや怪我防止のため、必ずゴム手袋を着用してご使用ください。
- ◆作業時は、保護メガネを着用してご使用ください。

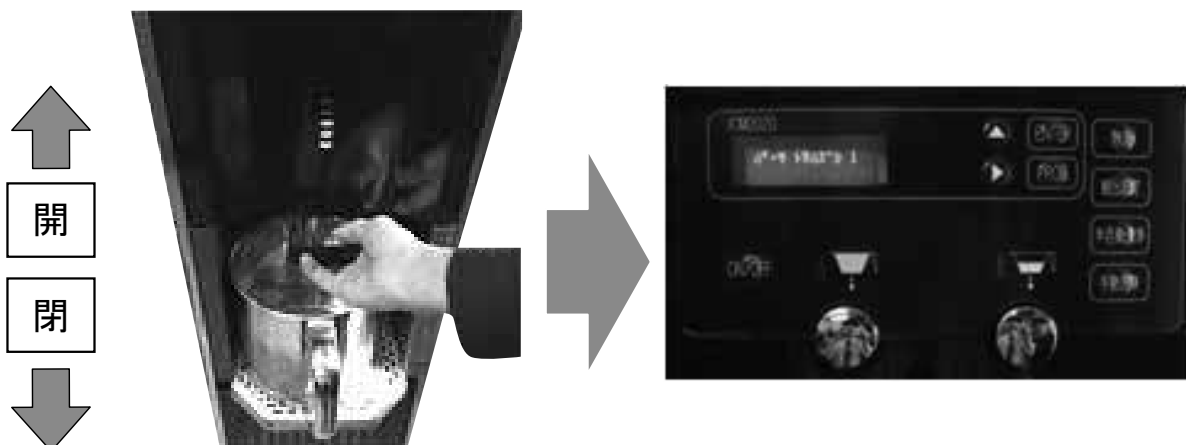
1 半自動洗浄ボタンを3秒間長押しする

「コーヒータンクヲカラニスル」表示を確認する。



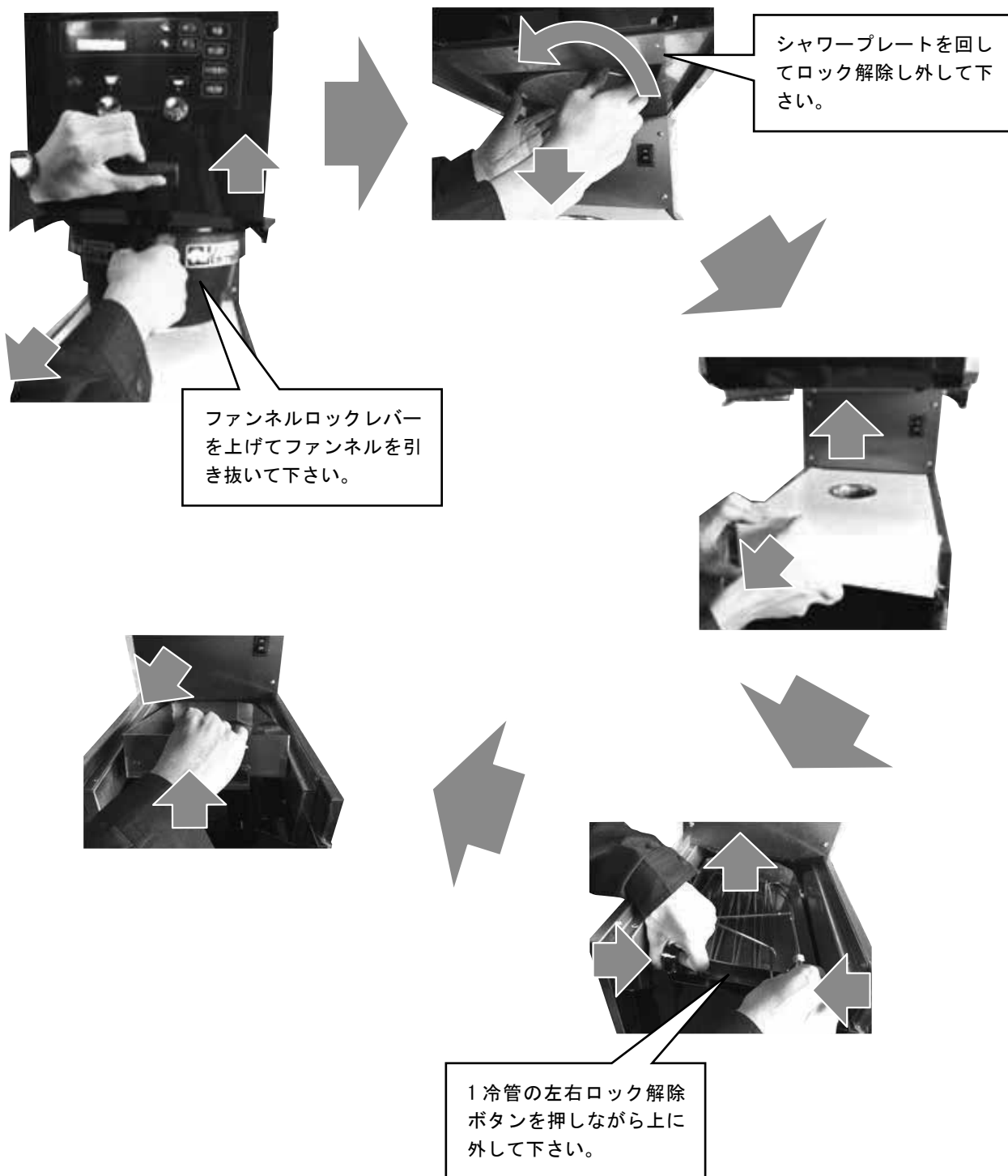
2 フォーセットレバーを引きコーヒータンクを空にする

空にしたらレバーを戻し、半自動ボタンを押し「パーツ トリハズシ1」表示を確認する。



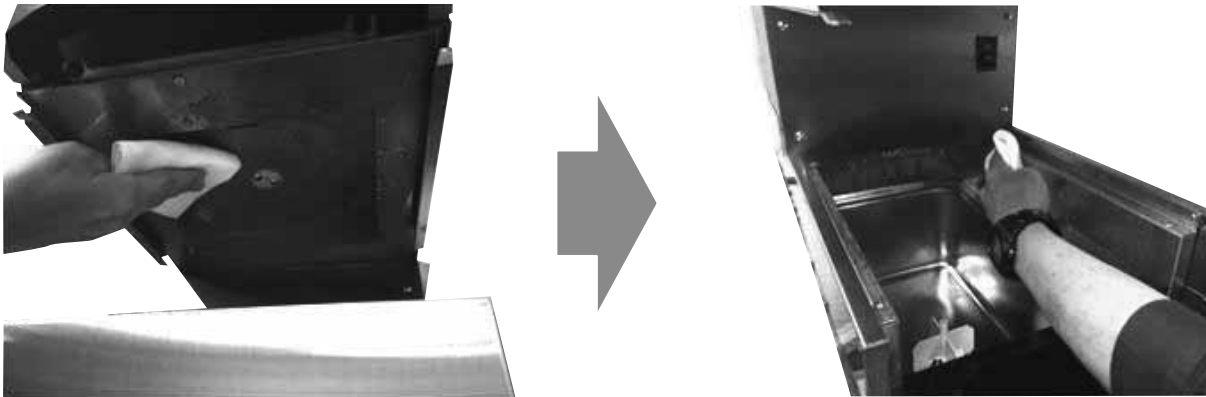
3 ファンネル・シャワープレート・1 冷カバー・メタルフィルター・1 冷管・1 冷容器・パドルを取り外し、半自動洗浄ボタンを押し「4L ススギュ トウニュウ」表示になる事を確認する

ファンネル・シャワープレート・1 冷カバー・メタルフィルター・1 冷容器は洗浄機で洗っても良いです。※1 冷管は軽く手洗いして下さい。（洗浄機は入れない事）



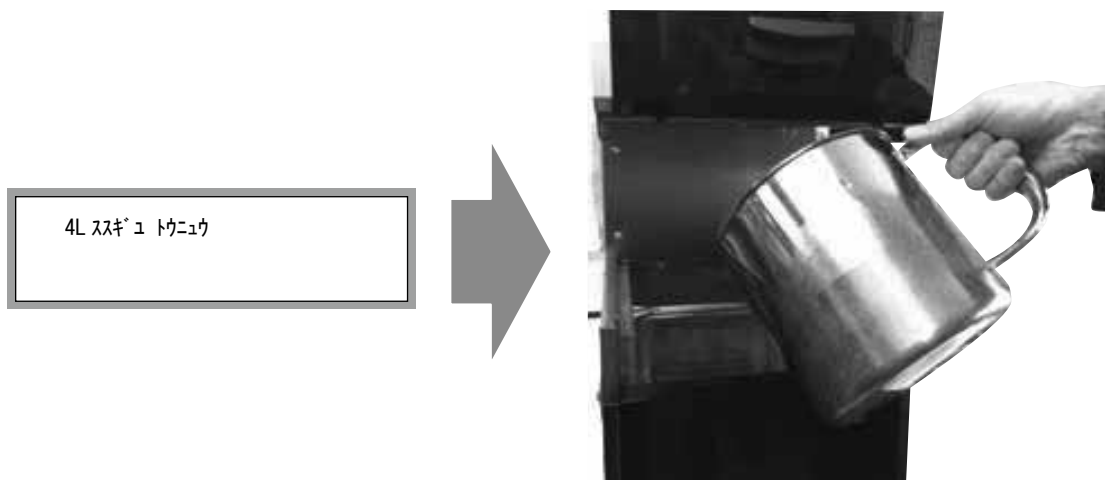
毎日おこなう洗浄と清掃

4 取り外し後シャワー部とコーヒータンク側面の汚れをキレイなダスターで拭きとり、半自動洗浄ボタンを押す



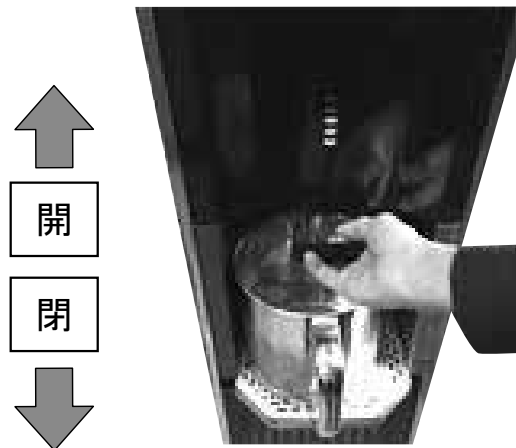
5 「4L ススギュ トウニュウ」 表示を確認する

4L のぬるま湯をコーヒータンクに入れて、半自動洗浄ボタンを押す。



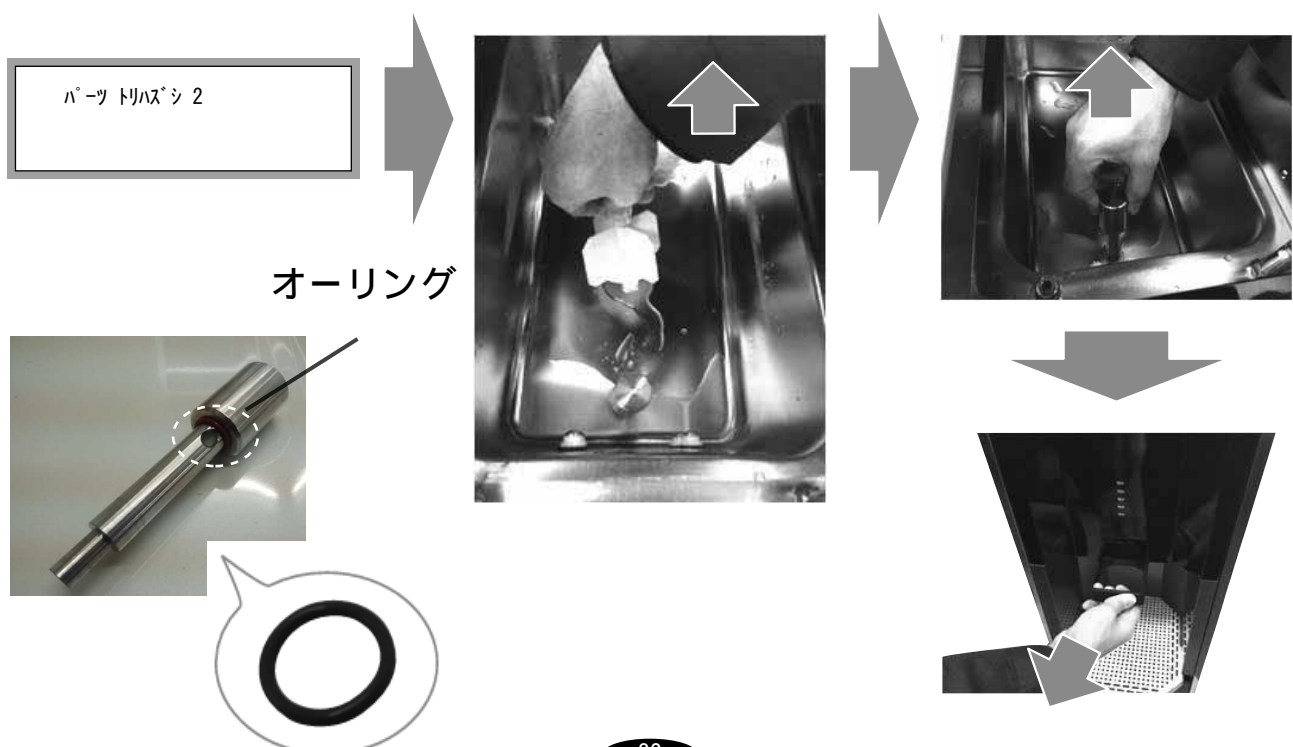
6 「コーヒータンクヲカラニスル」表示を確認しフォーセットレバーを引きコーヒータンクを空にする

空にしたらレバーを戻し、半自動洗浄ボタンを押す



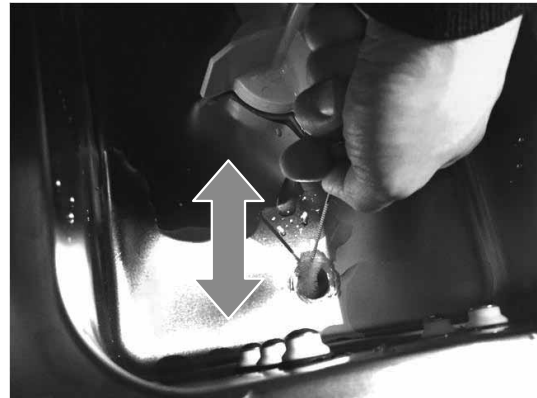
7 「パーツ トリハズシ 2」表示を確認しフォーセット・フォーセットレバー・パドルを取り外し、半自動洗浄ボタンを押し「コーヒータンク パイプ センジョウ」表示を確認する

取り外したフォーセット、オーリング、フォーセットレバー、パドルは手洗いしてください。



8 コーヒータンク取出し口の穴をブラシで洗う

コーヒータンク パイプ
センサー

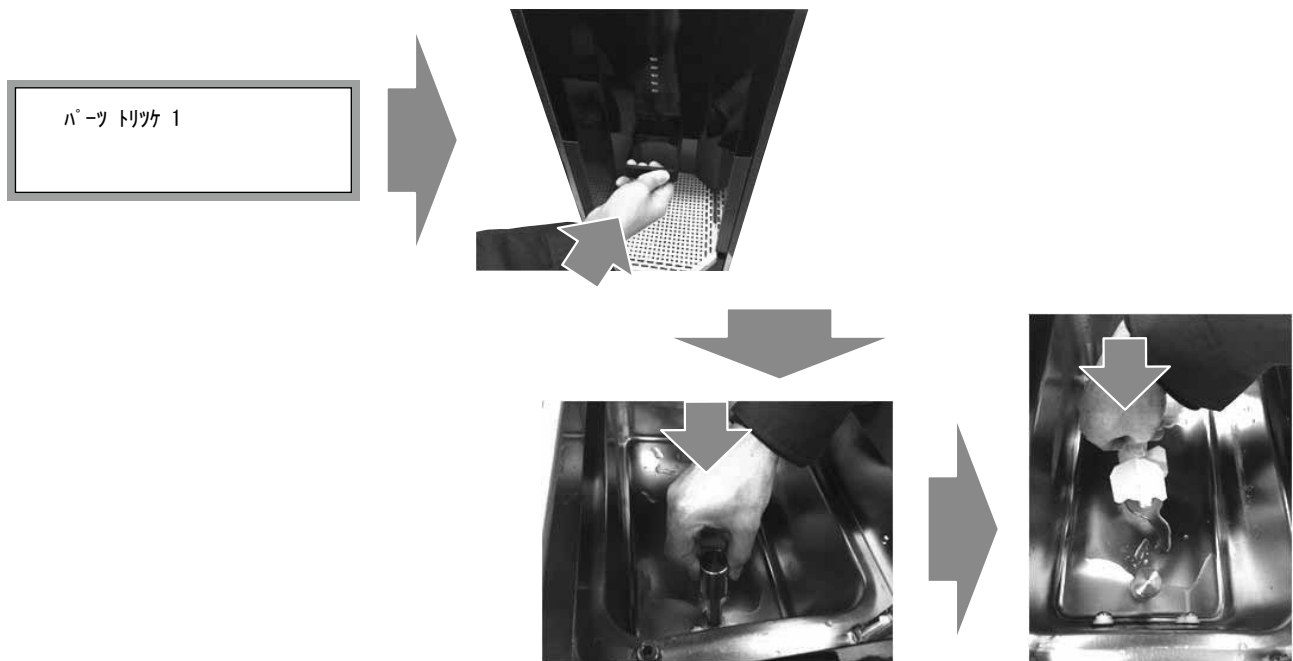


9 コーヒータンク取出し口周辺をキレイなダスターで拭く

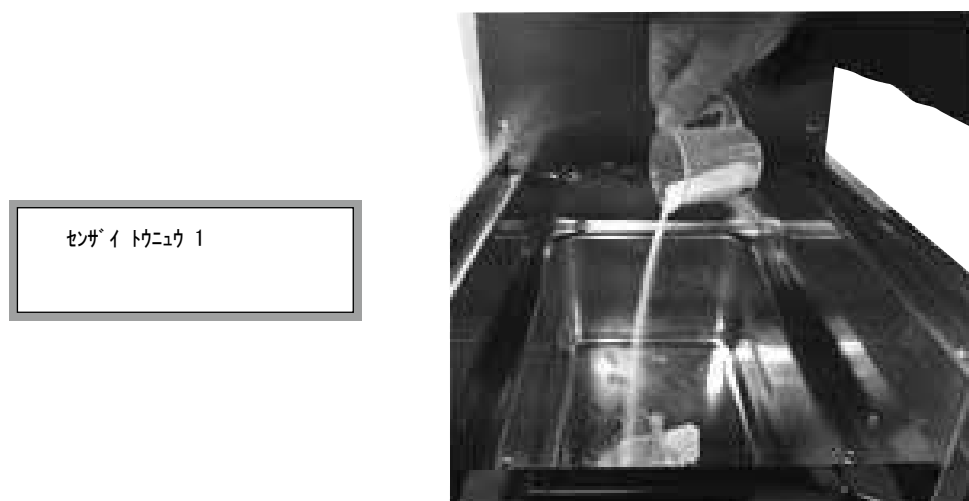
完了後、半自動洗浄ボタンを押す。



- 10 「パートリツケ 1」表示を確認し、手洗いしたもしくは付け替え用（洗浄済み）フォーセット・オーリング・フォーセットレバー・パドルを取付け、半自動洗浄ボタンを押す

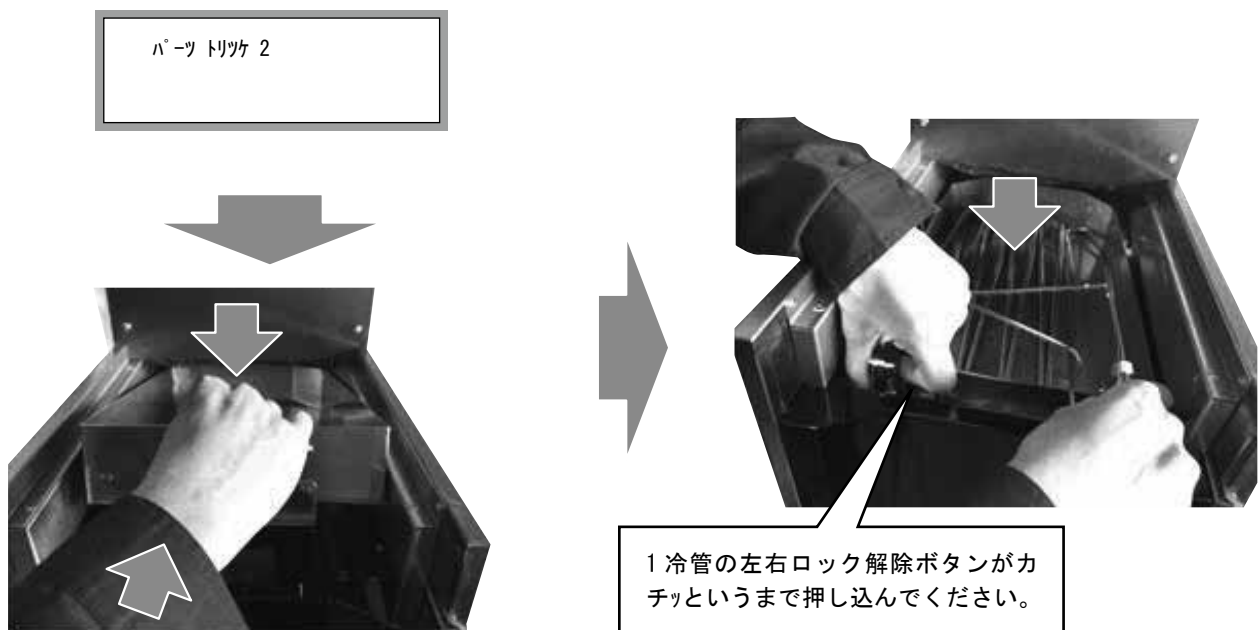


- 11 「センザイトウニュウ 1」表示を確認しコーヒータンクにバブルクリーン 30g 入れ、半自動洗浄ボタンを押す



毎日おこなう洗浄と清掃

- 12 「パートトリツケ 2」表示を確認し 1 冷容器・1 冷管を取付けて、半自動洗浄ボタンを押す

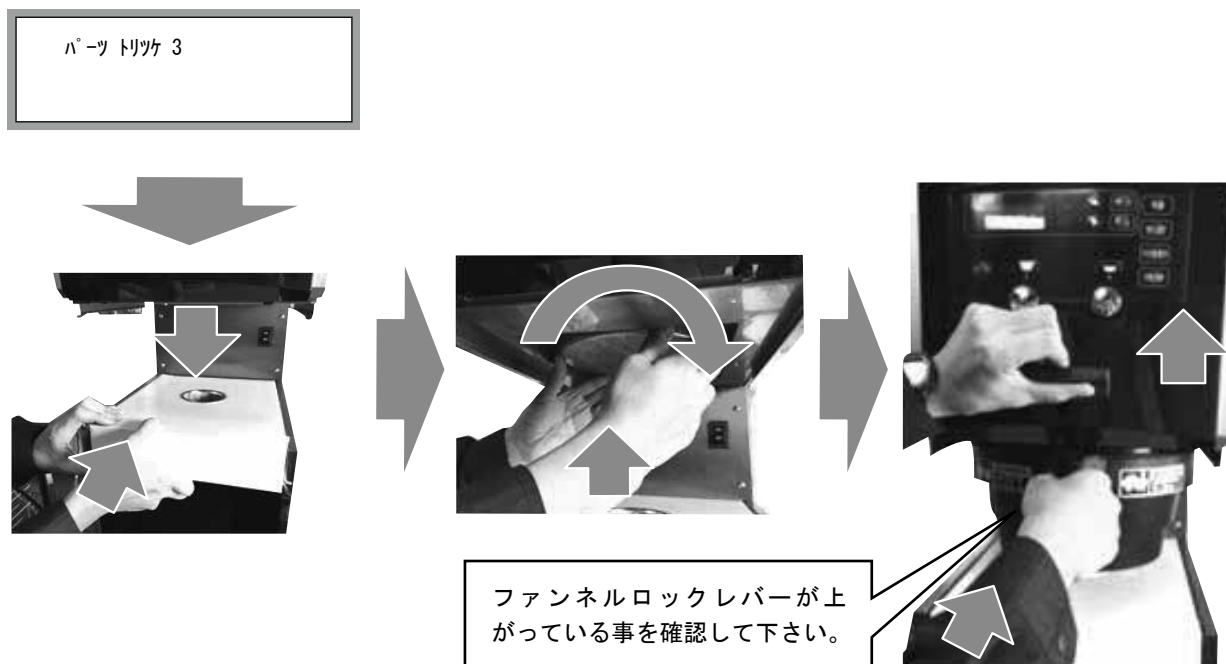


- 13 「センザイトウニュー 2」表示確認し、1 冷容器にバブルクリーン 20g 入れ、半自動洗浄ボタンを押す



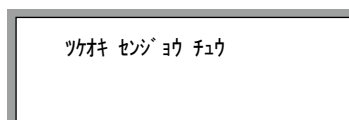
14 「パートリツケ 3」表示確認し、1 冷カバー・メタルフィルター・シャワープレート・ファンネルを取付けて半自動洗浄ボタンを押す

20 分浸け置き洗浄終了後、「ピー音」が鳴り「ツケオキセンジョウシュウリョウ」表示確認し半自動洗浄ボタンを押す。



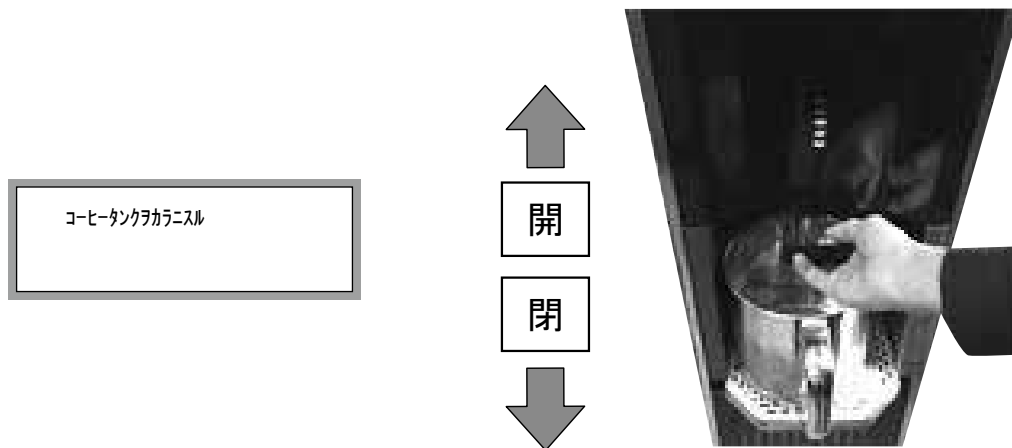
15 「ツケオキセンジョウチュウ」表示になり、洗浄動作が開始されます

20 分浸け置き洗浄終了後、「ピー音」が鳴り「ツケオキセンジョウシュウリョウ」表示確認し半自動洗浄ボタンを押す。



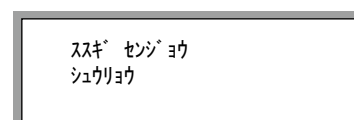
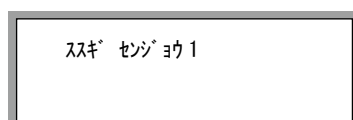
16 「コーヒータンクヲカラニスル」表示を確認し取出しレバーを引きコーヒータンクを空にする

空にしたらレバーを戻し、半自動洗浄ボタンを押す。



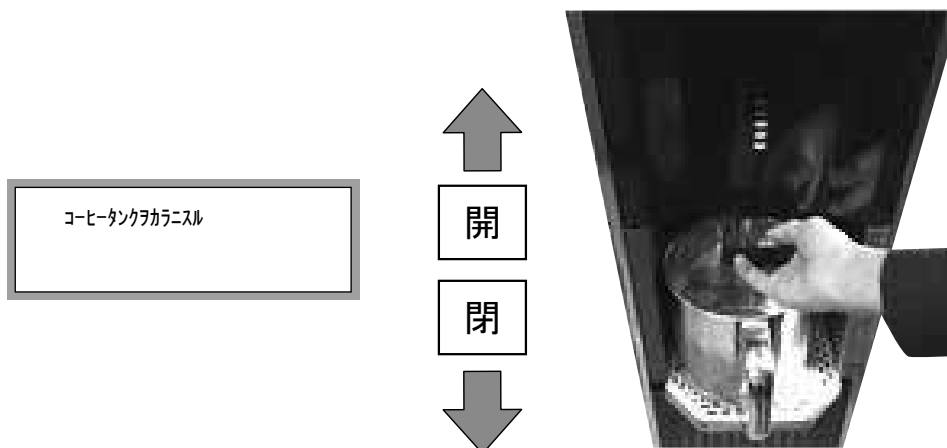
17 「ススギセンジョウ 1」表示になり、洗浄動作が開始されます

15 分浸け置き洗浄終了後、「ピー音」が鳴り「ススギセンジョウシュウリョウ」表示確認し半自動洗浄ボタンを押す。



18 「コーヒータンクヲカラニスル」表示を確認し取出しレバーを引きコーヒータンクを空にする

空にしたらレバーを戻し、半自動洗浄ボタンを押す。



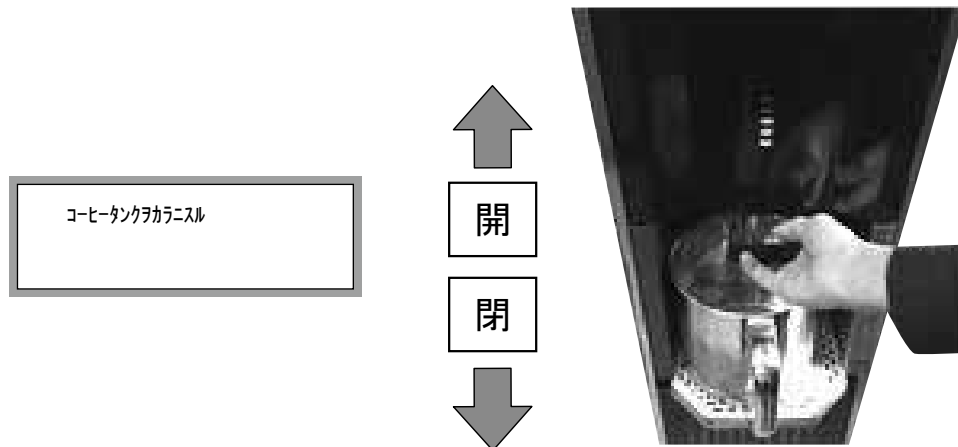
19 「ススギセンジョウ 1」表示になり、洗浄動作が開始されます

15分浸け置き洗浄終了後、「ピー音」が鳴り「ススギセンジョウシュウリョウ」表示確認し半自動洗浄ボタンを押す。

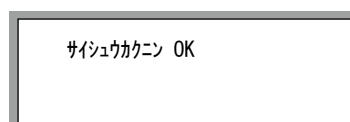


20 「コーヒータンクヲカラニスル」表示を確認し取出しレバーを引きコーヒータンクを空にする

空にしたらレバーを戻し、半自動洗浄ボタンを押す。



21 「サイシュウカクニン OK」表示を確認し、タンク内に残りが無いかパーツ付け忘れが無いか確認し、問題なければ半自動洗浄ボタンを押す



22 待機画面になった事を確認し終了



※浸け置き洗浄とすすぎ洗浄の排水は、5L ビーカーを置いたままでオーバーフローさせて排水すると楽になります。5L ビーカーの排水は、最後のすすぎ終了してから捨てる手間が少なくなります。

週に1～2回おこなう洗浄と清掃



警告

- ◆作業時は、火傷に注意してください。
- ◆洗剤手荒れや怪我防止のため、必ずゴム手袋を着用してご使用ください。
- 液が目に入った場合は、直ちに流水で洗い流した後、医師の診断を受けてください。

吸気フィルター清掃

1 吸気フィルターカバーを外す



2 吸気フィルターを取り外す



3 吸気フィルターを手洗いする



4 吸気フィルターの水気を取り、フィルターを取付ける



週に1～2回おこなう洗浄と清掃

5 吸気フィルターカバーを戻し終了



集合排水清掃

1 前面凹パネルを取り外す

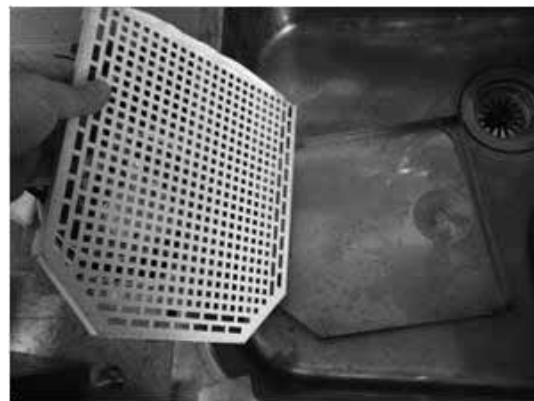
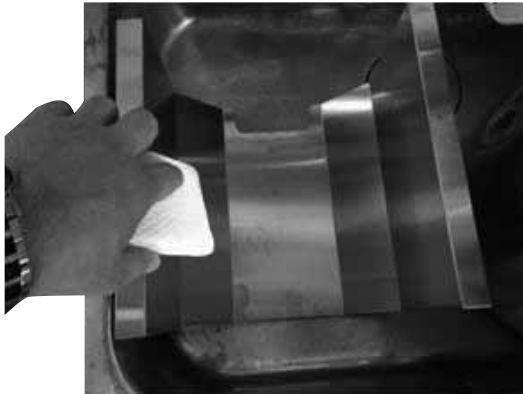


2 ドレンパンを取り外す

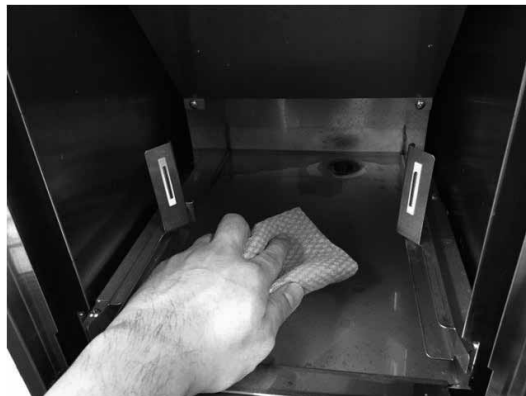


週に1～2回おこなう洗浄と清掃

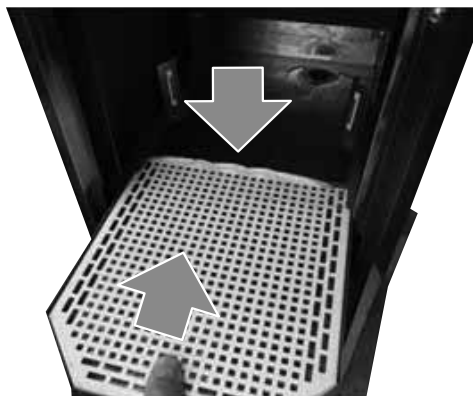
3 前面凹パネルとドレンパンを手洗いする。 ※洗浄機にかけても良い



4 集合排水をキレイなダスターで拭きとる



5 ドレンパンを取付ける



6 前面凹パネルを取付ける




3

お手入れと点検

この章では本機をお使いいただく上で、必要なお手入れと点検を一覧にして示しています。

週に1～2回のお手入れ

1. シャワープレートの洗淨	<ul style="list-style-type: none"> ●シャワープレートは週に1～2回、もしくは汚れが目立ったときに洗淨してください。 第2章「洗淨・清掃のしかた」を参照して、シャワープレートの洗淨をおこなってください。 ●お湯が出るシャワープレートの穴を楊枝などを使って、詰まっていないことを確認します。
2. ファンネル取り付け部底面の清掃	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンネル取り付け部は週に1～2回、もしくは汚れが目立ったときに清掃してください。 第2章「洗淨・清掃のしかた」を参照して、ファンネル取り付け部の底面を清掃してください。
3. 本体外装の清掃	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の外装は、中性洗剤を使用し、柔らかい布で丁寧に拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  本機に直接水を掛けて洗わないでください。 漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。 </div>

1か月に1回の点検

漏電遮断器動作確認	<ul style="list-style-type: none"> ●漏電遮断器は、1ヶ月に1回動作確認をおこなってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 漏電遮断器のテストボタンを、指先などで押してください。 2) 「OFF(切)」に切り換わるか確認してください。切り換われば正常です。レバーが「OFF(切)」に切り換わらない場合は、そのままの状態ですぐにお買上げ店へご連絡ください。 3) 正常な場合は「ON(入)」にしてください。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4

プログラム設定について

この章では本機のプログラム内容と設定のしかたについて説明しています。

プログラムの概要

プログラムモードに入るには

- プログラムの設定はプログラムモードに入っておこないます。

本体の『メインスイッチ』ON、コントロールパネルの『電源スイッチ』はOFFにします。



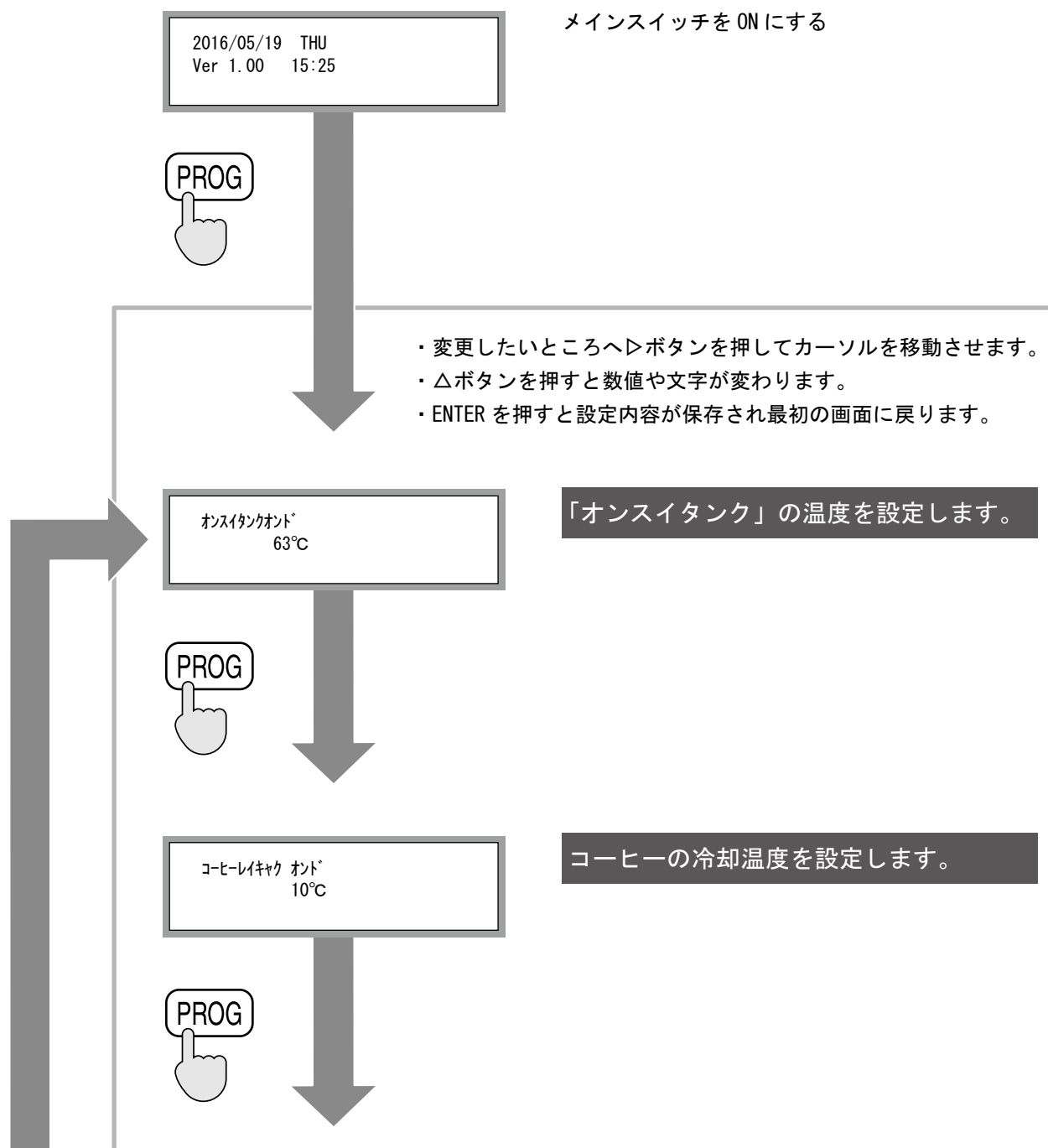
コントロールパネルの『プログラムスイッチ』  を押します。

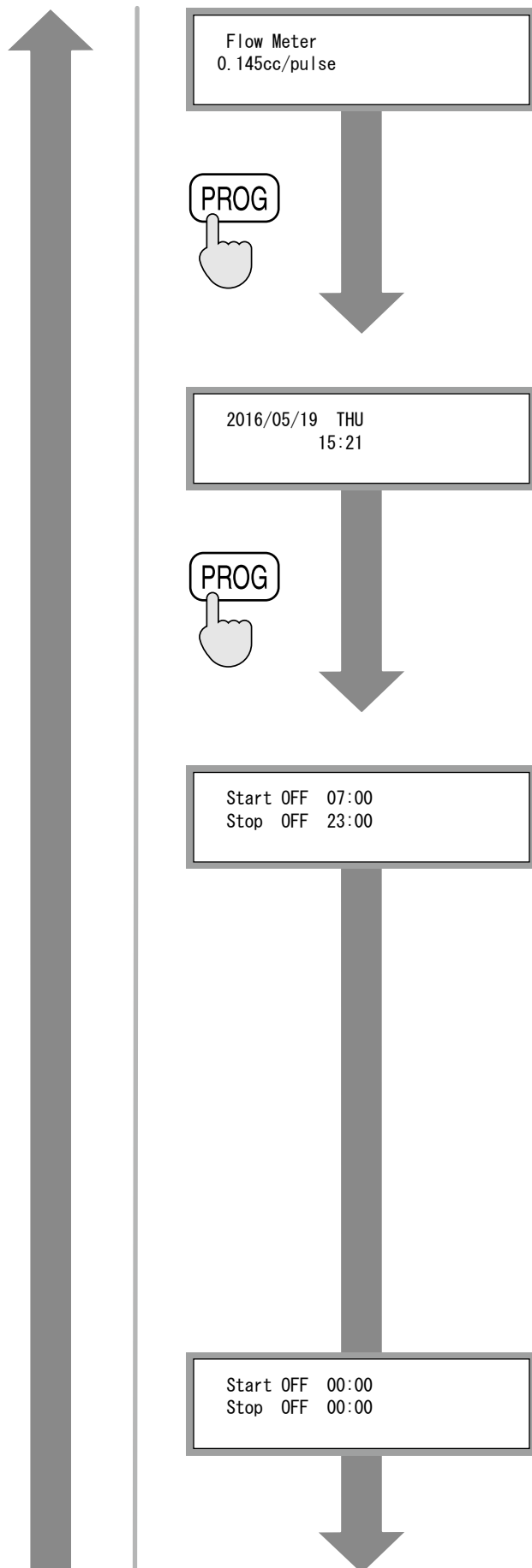


これでプログラムモードに入りました。

プログラムの設定のしかた

基本動作プログラムの設定変更のしかた





1 パルス当りの流量計の量を決定します。

標準は 0.145cc/pulse トップ量の時に使います。

例) 数値が少ないほど抽出量は増えます。

日付と時間の設定をします。

自動立ち上げタイマーの設定

- 「自動立ち上げ時刻」(Start) と「自動終了時刻」(Stop) の設定をおこないます。
- 設定した「自動立ち上げ時刻」になると、自動的に電源ボタンが ON になり、給水とウォーミングアップが始まります。その後、抽出可能な状態で待機します。
- 設定した「自動終了時刻」になると自動的に電源ボタンが OFF になります。(本体のメインスイッチは ON のままです) ドリップタンクの自動洗浄中に「自動終了時刻」になった場合、自動洗浄の終了後、電源ボタンが OFF になります。
- 「自動立ち上げタイマー」機能を使用しない場合は「Start」「Stop」をともに OFF に設定します。

1 自動立ち上げタイマーの設定画面に入ります。

- 「自動立ち上げタイマー」の設定画面に入ります。ディスプレイに右のような表示があらわれます。

プログラムの設定のしかた

2 自動立ち上げ時刻を設定します。

①「Auto」の ON、OFF を設定します。△ボタンを押すと ON、OFF が交互に表示されます。
「自動立ち上げタイマー」機能を使用する場合は ON に設定します。

②▷ボタンを押してカーソルを移動させます。
「自動立ち上げタイマー」機能を使用する場合は、自動立ち上げ時刻を設定します。

まず、“時”の設定をおこないます。
△ボタンを押すと数値が大きくなります。
設定したい数値が表示されたら▷ボタンを押してカーソルを移動します。続いて“分”の設定をおこないます。

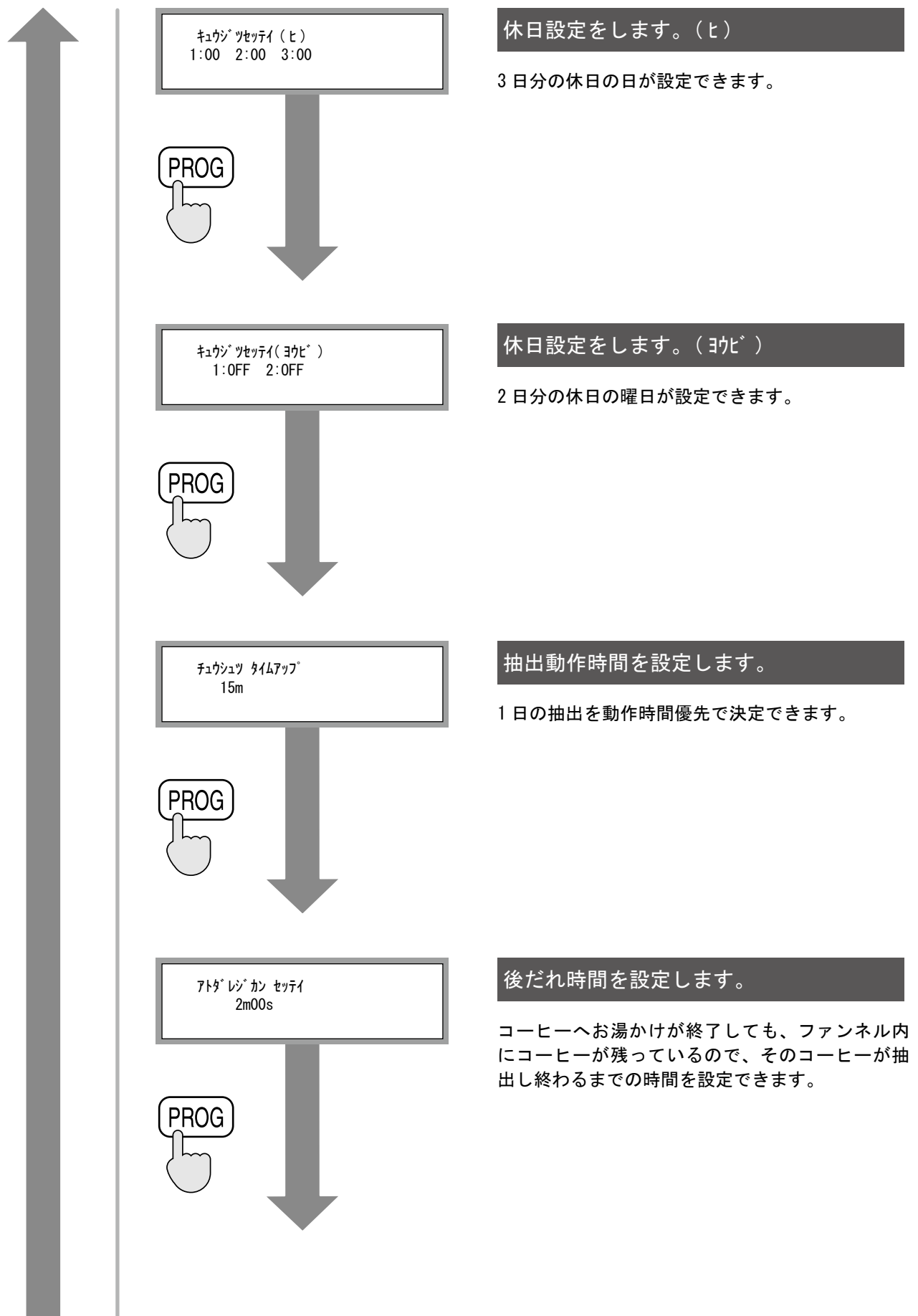
3 自動終了時刻を設定します。

①「自動立ち上げ時刻」の設定と同様にして「自動終了時刻」を設定します。

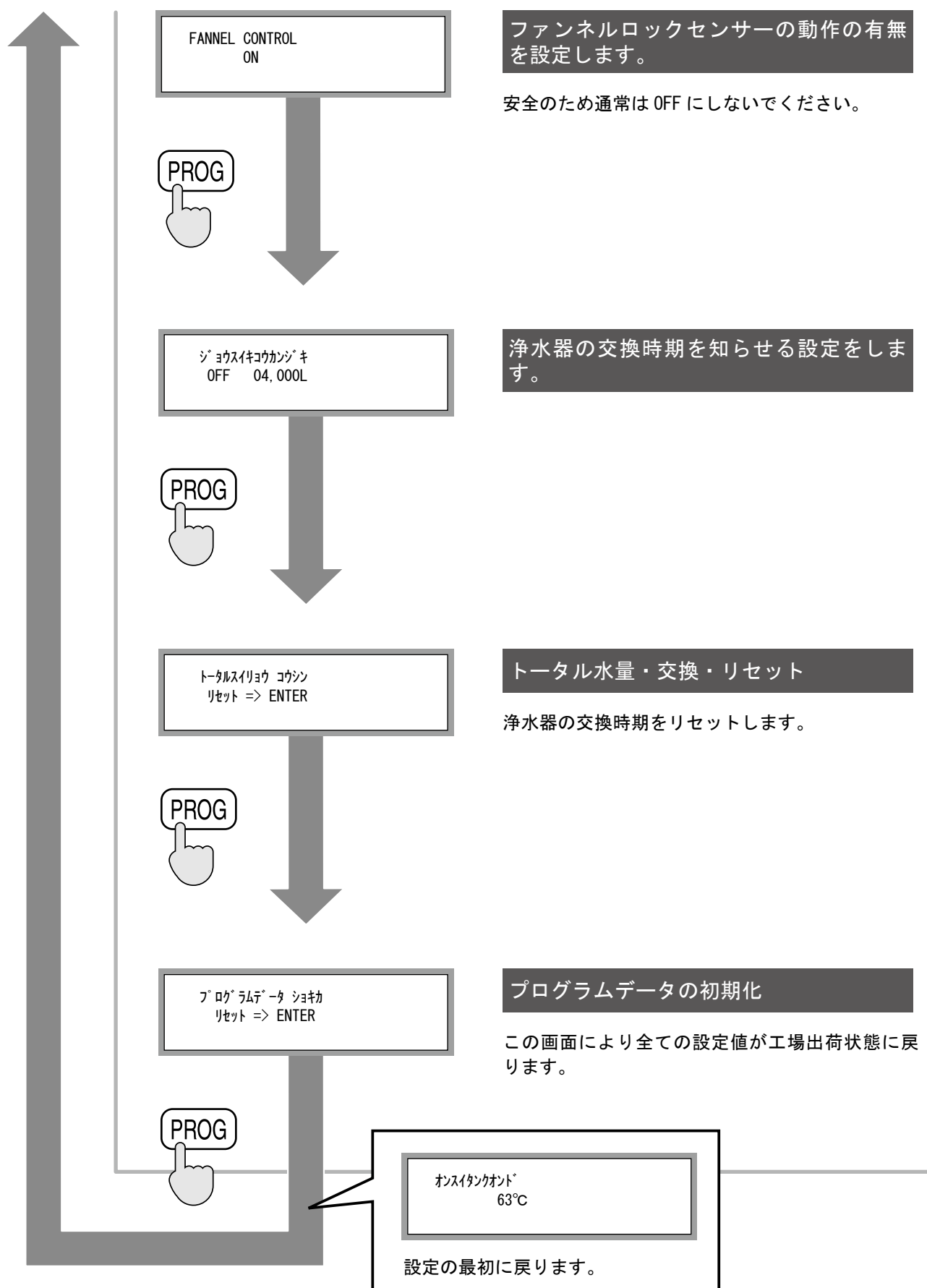
②『プログラムボタン』を押すと、次の設定画面である「休日の設定」（曜日での設定）に移ります。

●これで設定を終える場合は『エンターボタン』を押します。左の画面が表示され設定内容が保存された後、ディスプレイに日付、曜日、時刻、プログラムバージョンの待機画面に戻ります。

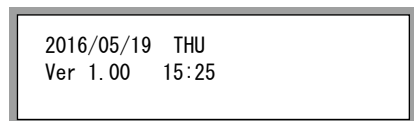
オンスイタソカント[®]
63°C



プログラムの設定のしかた



半自動洗浄プログラムの設定変更のしかた



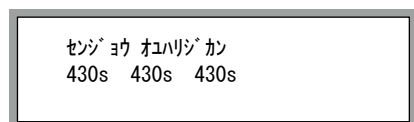
この画面状態から半自動洗浄ボタンを長押しします。



洗浄温度を設定できます。

注意：60℃以上あげないでください。

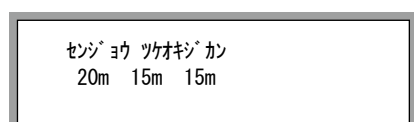
洗浄剤（バブルクリーン）の効果が下がります。



洗浄時の湯量が設定できます。

3 回のお湯はりの設定が必要です。

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1 回目：洗浄剤のつけおき時のお湯量 | 430s(標準) |
| 2 回目：すすぎ 1 回目のつけおき時のお湯量 | 430s(標準) |
| 3 回目：すすぎ 2 回目のつけおき時のお湯量 | 430s(標準) |

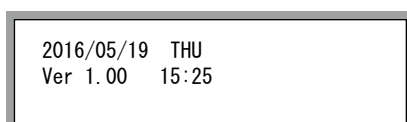


洗浄つけおき時間の設定ができます。

3 回のお湯はりの設定が必要です。

- | | |
|----------------------|----------|
| 1 回目：洗浄剤のつけおき時間 | 20 分(標準) |
| 2 回目：すすぎ 1 回目のつけおき時間 | 15 分(標準) |
| 3 回目：すすぎ 2 回目のつけおき時間 | 15 分(標準) |

ENTER で確定させますと待機画面に戻ります。



プログラムの設定のしかた

手動洗浄プログラムの設定変更のしかた

2016/05/19 THU
Ver 1.00 15:25

手動洗浄

この画面状態から手動洗浄ボタンを長押しします。



M セン' ヨウ オン'ト
60℃

手動洗浄

洗浄温度を設定できます。

注意：60℃以上あげないでください。
洗浄剤の効果が下がります。

M セン' ヨウ オユハリ'カン
430s 430s

手動洗浄

洗浄時の湯量が設定できます。

2 回のお湯はり時間の設定が必要です。

1 回目：1 回目のお湯はり時間

430s (標準)

2 回目：2 回目のお湯はり時間

430s (標準)

M セン' ヨウ ツケオキ'シ'カン
10s 10s

ENTER

洗浄つけおき時間の設定ができます。

1 回目：すすぎ 1 回目のつけおき時間

10 分 (標準)

2 回目：すすぎ 2 回目のつけおき時間

10 分 (標準)

ENTER で確定させますと
待機画面に戻ります。

2016/05/19 THU
Ver 1.00 15:25

ドリップ流量の調整

2016/05/19 THU
Ver 1.00 15:25

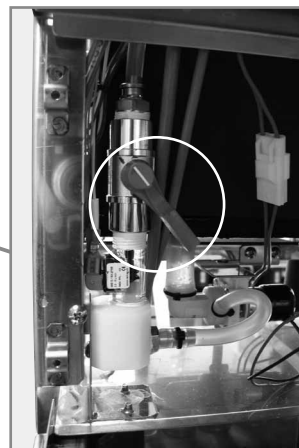
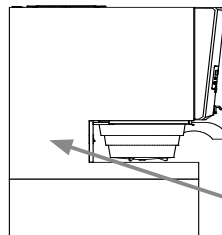
コーヒー抽出ボタン
FULL と HALF 同時押し

L ■ H □ KENSA 00000
000℃ 000℃ 000℃

コーヒー抽出ボタン
FULL と HALF 同時押し

リュウヨウチョウセイモード

この画面からドリップ流量の
調整モードに入ります。



ドリップ流量調整
バルブオレンジを垂直にする
と多くなり、真横で停止します。

抽出 FULL : ドリップ流量調整 (ボタンを押すと 10 秒間出るのでシャワーからの量を計る)

一次冷却水量の調整

2016/05/19 THU
Ver 1.00 15:25

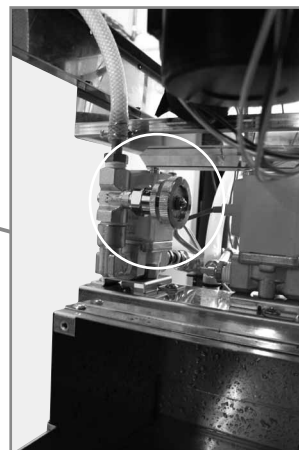
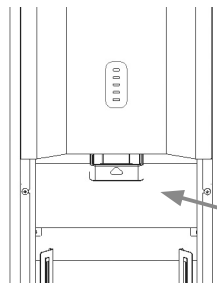
コーヒー抽出ボタン
FULL と HALF 同時押し

L ■ H □ KENSA 00000
000℃ 000℃ 000℃

コーヒー抽出ボタン
FULL と HALF 同時押し

リュウヨウチョウセイモード

この画面から一次冷却水量の
調整モードに入ります。



一次冷却量調整バルブ
時計回りで水量減少し、反時計
回りで水量は多くなります。

抽出 HALF : 一次冷却流量調整 (ボタンを押すと 10 秒間出るので一次冷却パイプの量を計る)

5

据付けについて

本機の据付け時には必ず守ってください



警告

●据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災の原因になります。



専門業者

●アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

(電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)



アース工事

●本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

●電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になることがあります。



電気工事

●耐震対策を行うこと

地震などにより転倒する場合があります。耐震金具などを用いて、機器を固定してください。



耐震対策

●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

●電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

据付工事

はじめに、下記の配管用付属品がそろっているか確認してください。

配管用部品

〈付属品〉

- | | |
|---------------------------------|-----|
| 1. 給水用フレキシブルホース (1/2 1.0m)..... | 1 本 |
| 2. 排水用フレキシブルホース (3/4 1.0m)..... | 1 本 |

〈別売品〉

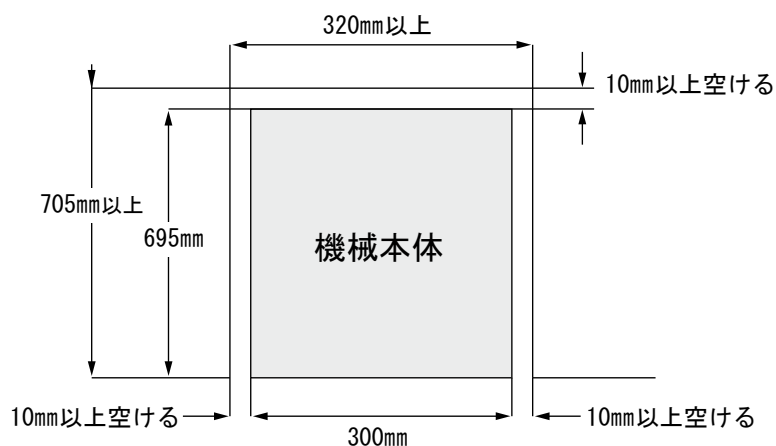
- | | |
|-------------------------------------------------|-----|
| 1. 浄水器ヘッド (エバピュア QC7 型 異径ニップル 3/8 × 1/2 付)..... | 1 個 |
| 2. 浄水器カートリッジ (7CB5-S)..... | 1 個 |

据付前の準備

●本機を据付けされるには、事前に下記の設備をお客様側にて行っていただく必要があります。

据付台

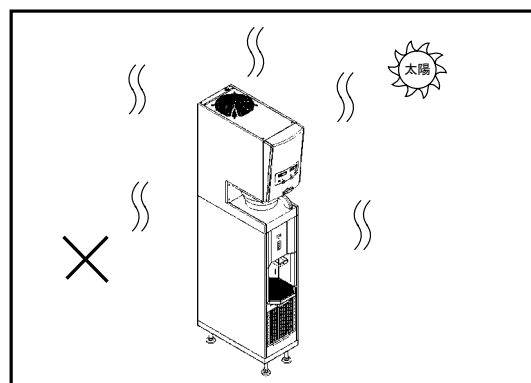
- ① 据付台の下には、浄水器、配管設備のスペースが必要です。
目安として、機械本体と同等のスペース（面積）を確保してください。
- ② 機械の左右に熱源がなく、特にコーヒー経路には熱風や熱がまわらないようにしてください。



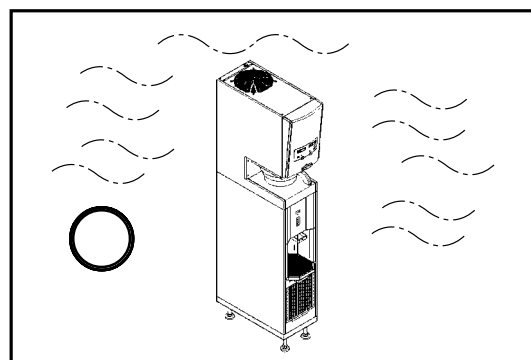
据付工事

① 据付ける場所として、次のことに注意してください。

1) 直射日光の当たる所や、機械の周囲の温度が32℃を超える高温の場所には据付けないでください。高温になると、電気部品の故障の原因となります。



2) 風通しの良い所に据付けてください。風通しが悪いと蒸気がこもり、機械の寿命を短くしたり漏電の原因となります。

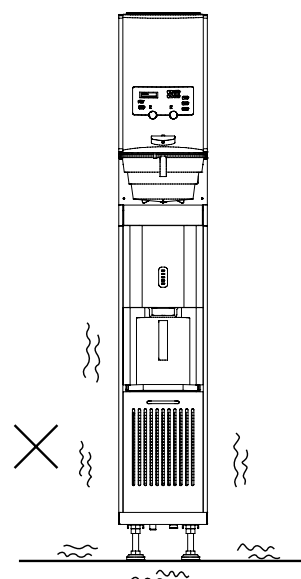
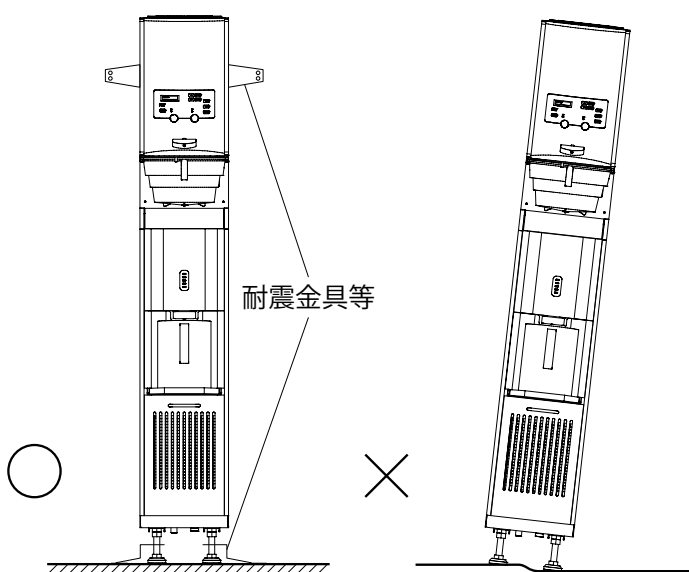


3) 水をこぼしてもよい所へ据付けてください。

使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に散ることがありますので、漏れると不都合な所では、防水処置をしてください。

4) 丈夫で凹凸のない、水平な台へ据付けてください。(アジャスト脚で水平に保つことができます。)

5) 耐震金具等の取付けをお願いします。



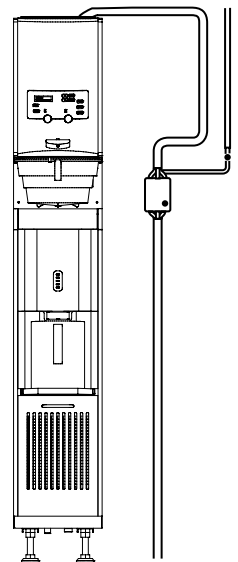
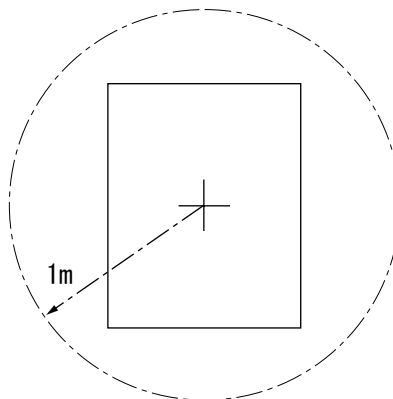
6) 振動のない所へ据付けてください。

水 道

- ① 水道栓は、ステンレスフレキシブルホースが取り付けられるように、コックの先に「G1/2 オスネジ」付のものを用意してください。
- ② 水道圧力は、流れている状態で「0.1MPa 以上、0.5MPa 未満」が必要です。水圧が低いと、機械が正常に動作しないことがあります。また、水圧が高すぎると水漏れの原因になることがあります。範囲を超えている場合は、機械の調整を要しますのでお買上げ店にご相談ください。
- ③ 給水に使用する水は、必ず飲料水を使用してください。
飲料水以外の水は、健康障害の原因になります。
- ④ 凍結の恐れのある場所へは据え付けしないでください。
故障の原因および、給水管の破裂から浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。寒冷地など、凍結の恐れのある場所へ据え付けの場合は、お買上げ店にご相談ください。

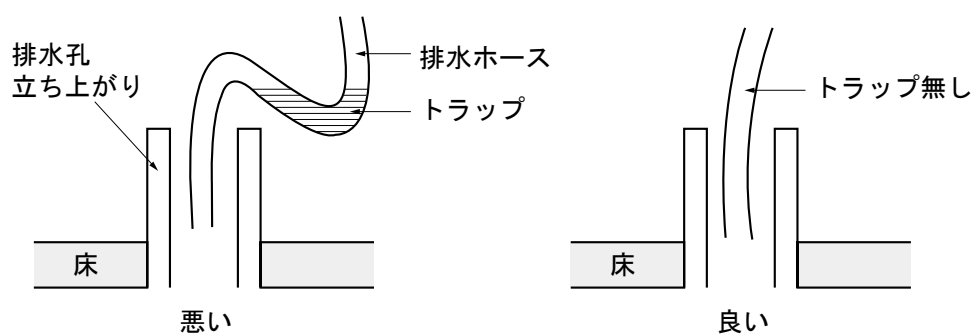
電 気

- ① 機械本体設備容量
三相 200V 50/60Hz 6KVA 20A（ブレーカー容量 30A）
- ② 本機の電源は、必ず専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続してください。
- ③ アース端子は、必ず設けてください。
アースは、法令により D 種接地工事が必要です。電気工事店に工事を依頼してください。
- ④ 電源に近いところ（できれば 1m 以内）へ据付けてください。
電源コードは約 2m です。
（3 心 外径 12 mm）
- ⑤ 本機の電源コードを電源設備に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください。



排水孔

- ① 排水孔、または排水溝は、機械近くの低い所に設けてください。
- ② 排水孔の大きさは、直径 40mm 以上にしてください。
- ③ 立ち上がりは、できるだけ低くしてください。
立ち上がりが高くと、トラップが発生し、排水ができなくなります。
- ④ 熱湯を流すことがありますので、耐熱性のある排水設備を設けてください。

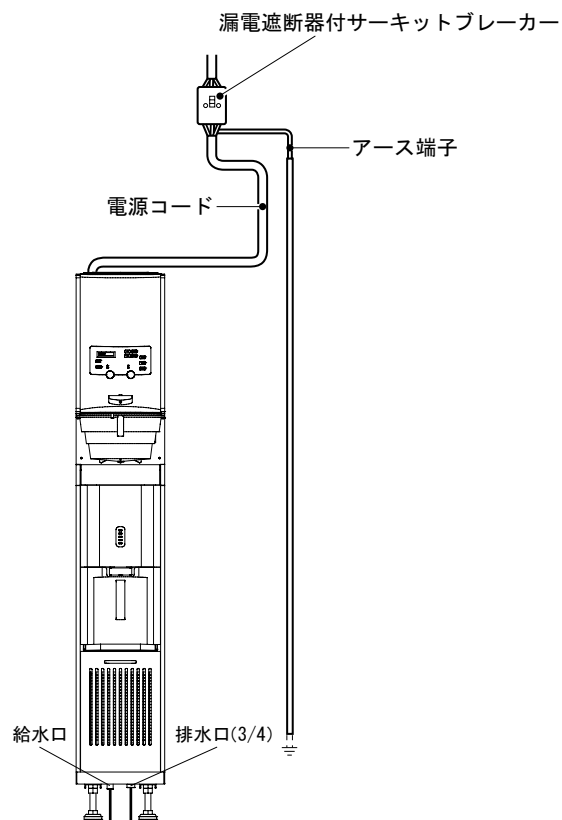


据付け

レイアウト

- ① 下図は、据付台に配管穴をあけた理想的な据付け方法です。
据付台には、平面図に記載の寸法で穴をあけ、正面図のように配線および配管をしてください。

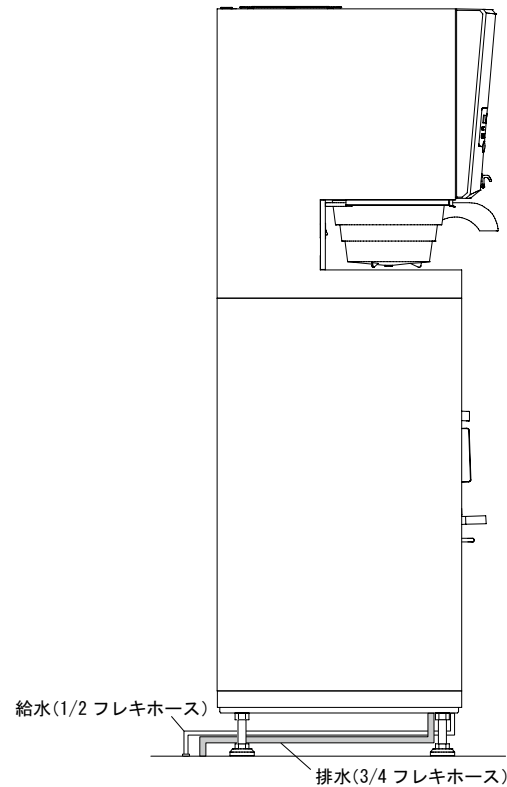
正面図



② 下図は、据付台に穴加工ができない場合の据付け方法です。

お願い

ドレンパンからの排水用ドレンホースは、絶対にトラップをつくらないようにし、できるだけ傾斜を大きくとってください。



据付・接続

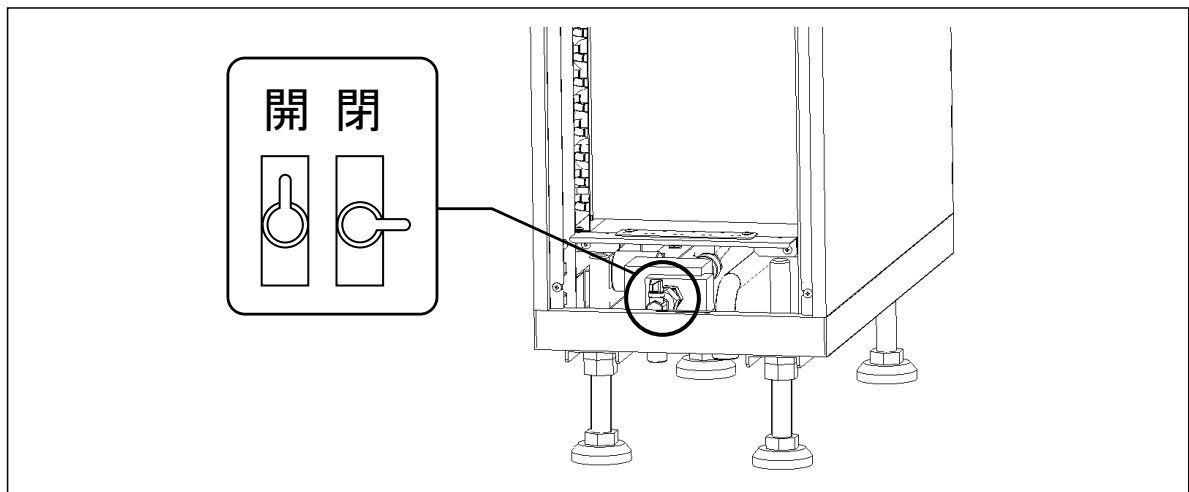
全体レイアウトが決まったら、以下の要領で据付・接続をしてください。

① 浄水器〈別売品〉

- 浄水器を取り付けないとコーヒーの味に影響を与えます。また、水道水内のゴミ等により、機械故障の原因となることがありますので、必ず浄水器をつけてください。

1) 浄水器ヘッドの取り付け方

浄水器ヘッドの固定ブラケットを、据付台下の壁面にタッピングネジか釘で取り付けてください。



2) カートリッジを浄水器ヘッドに取り付けてください。

浄水器カートリッジの取り付け方（取り外し方）は、カートリッジに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

3) 浄水器内部の洗浄方法

浄水器は、機械に給水ホースを接続する前に約3分間水を流して内部を洗浄してください。

①水道栓と、浄水器「IN」側をステンレスフレキシブルホース（1.5m）で接続してください。

②浄水器「OUT」側にステンレスフレキシブルホース（1.0m）を接続し、ホースのもう一方の端を排水口または、排水溝へ差し込んでください。

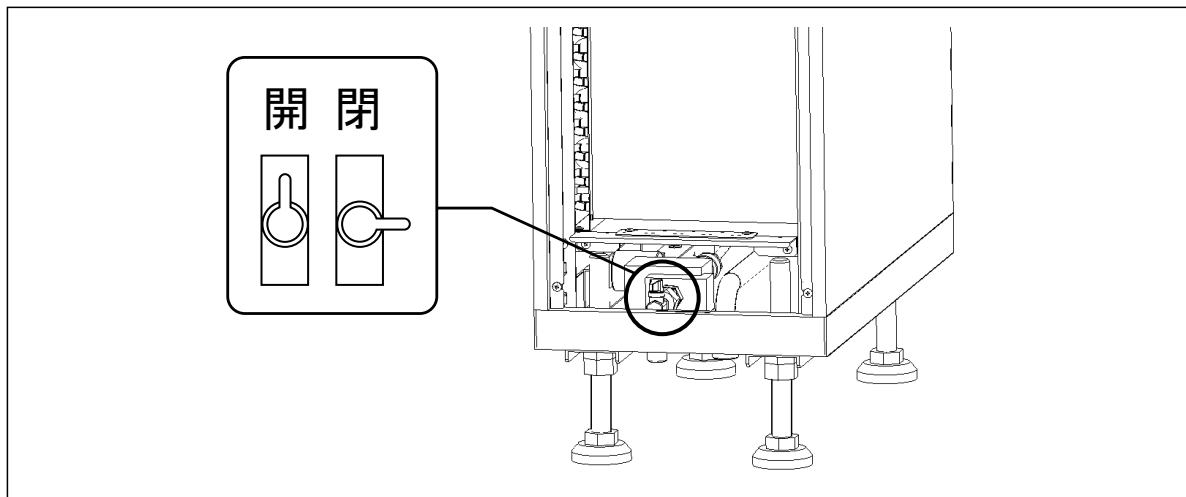
③水道栓を開いて、約3分間水を出し、内部のゴミやホコリなどを流してください。

●浄水器は条件により異なりますが、半年または1年毎にカートリッジを交換してください。交換につきましては、お買上げ店にご相談ください。

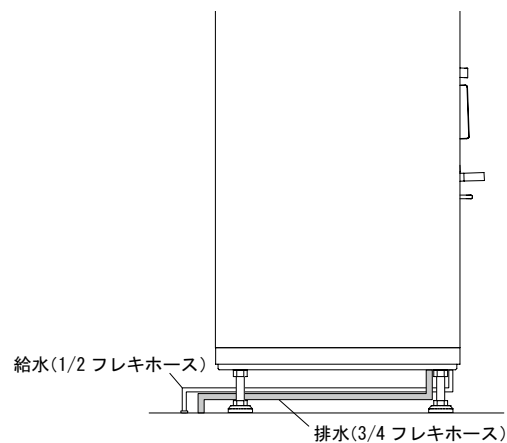
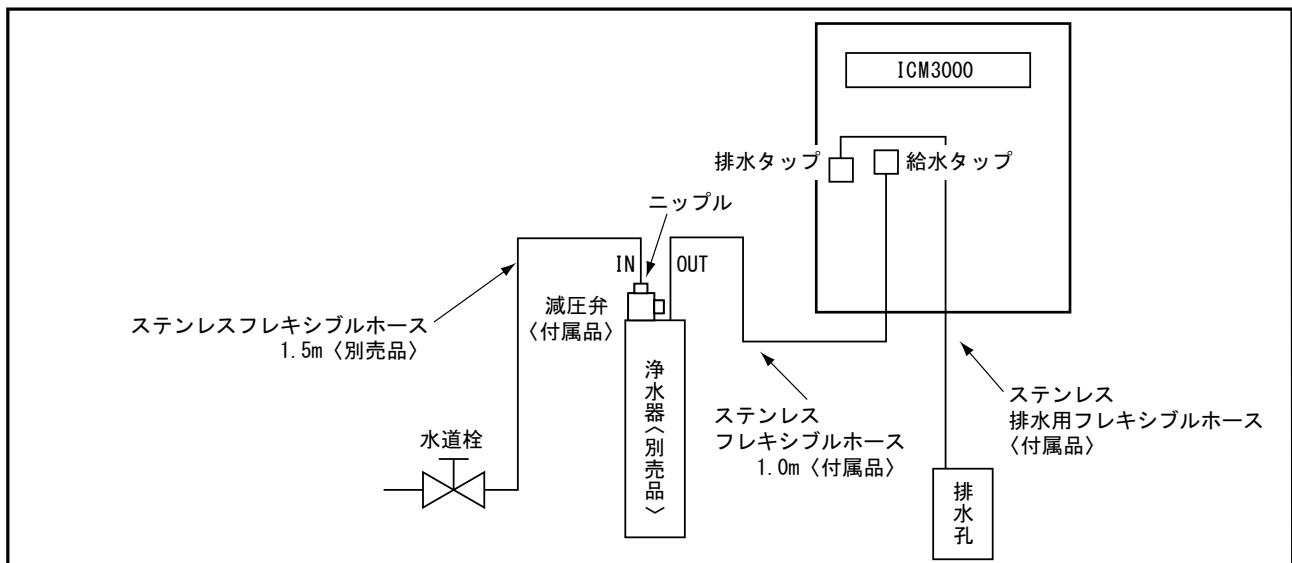
② 給水

●浄水器内部の洗浄が終わったら、機械に給排水の配管をおこないます。

内部の洗浄が終わった浄水器「OUT」側に接続されたステンレスフレキシブルホース（1.0m）を本体底部に接続してください。右図の給水タップに接続します。



据付工事



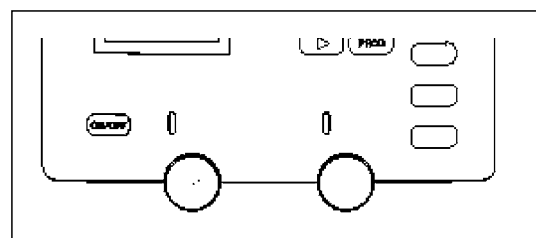
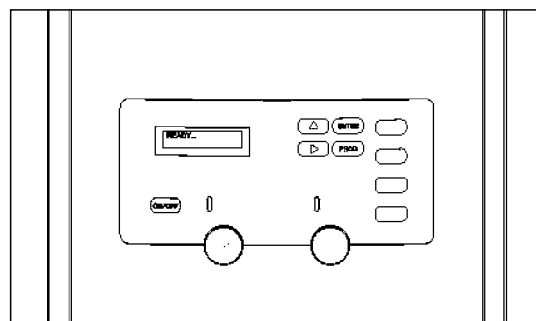
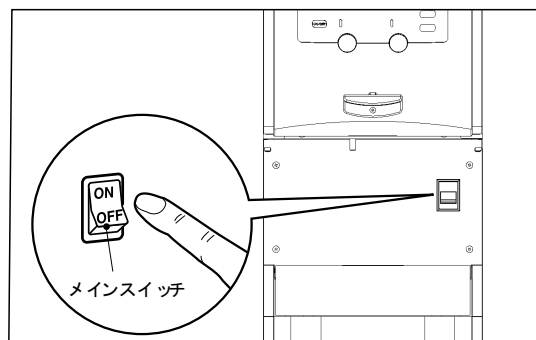
※据付けが完了しましたら、水道の元栓を開け、配管部に水漏れがないか確認してください。

③ 配線

電源コードを、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカー等に直接接続してください。
アース線（緑色の線）をアース端子に接続してください。

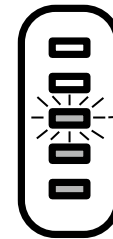
据付け後の動作確認

- ①機械に「攪拌パドル」「1 冷容器」「1 冷管」「ファンネル」をセットしてください。（セットのしかたは「第2章洗浄・清掃のしかた」をご参照ください。）「1 冷カバー蓋」は外したままにしてください。また、「ファンネル」にはペーパーフィルターやコーヒー豆を入れる必要はありません。
- ②水道の元栓を開いてください。
- ③本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）を入れてください。
- ④機械前面左方下部にある「メインスイッチ」を『ON（入）』にしてください。
- ⑤コントロールパネル部の「電源スイッチ」を押してください。
- ⑥自動的に、温水タンクへの給水が始まります。
温水タンクへの給水時間……約 5 分
- ⑦温水タンクへの給水が完了すると、自動的に加熱が始まります。
温水タンクへの昇温時間……約 10 分
- ⑧温水タンクの昇温が完了すると「DRIP OK」が表示されます。
- ⑨抽出ボタン FULL を押してください。1 冷容器に熱湯が落ちます。1 冷容器に溜まった湯は、下のコーヒータンクにゆっくり落ちてゆきます。



⑩抽出ボタン FULL を押して約 20 分経過すると終了し、このときコーヒータンク内に水が約 4.9L 溜まります。

⑪上記の動作確認後、コーヒータンク内の水を排水してください。ドリフトレイから排水ホースに流れます。この際、排水がスムーズに流れるか確認してください。排水配管部に詰まりなどがあると、ドリフトレイより水が溢れ出て、周囲を濡らしますのでご注意ください。



ここまで点灯

⑫コーヒータンク上部に、1 冷カバー蓋を取り付けてください。

⑬「電源スイッチ」「メインスイッチ」を切ってください。

これで据付け後の動作確認が完了しました。

仕 様

品名		アイスコーヒーマシン
型式		ICM3000
外形寸法	幅 (mm)	300
	奥行き (mm)	695 (ファンネルを含む)
	高さ (mm)	1830~1930 (各脚個別調整可能)
質量 (kg)		95
電源		3相 200V 50/60Hz
電流		18A
消費電力		6.0Kw
昇温時間		約10分
ドリップ抽出温度		標準設定 63℃ (0~97℃設定可変)
ドリップコーヒー抽出量		<ul style="list-style-type: none"> ・能力 4L/15min、16L/h ・標準設定26cc/sec (15~26cc/sec) ・1回あたりの抽出量は自由設定 (但し、コーヒータンク容量は10L) ・最大4分割給湯可能、むらし時間 (0~99sec) 蒸らし0秒設定された以降の動作はキャンセルされる ・2種類の抽出設定可能
水道圧力		0.1~0.74MPa (1~7.5kg/cm ²)
温水タンク仕様		11L
温水タンクヒーター容量		1.8kw×2本 1.6kw×1本 シーズヒーター
アイスコーヒータンク容量		10L
アイスコーヒー冷蔵保存温度		18℃以下
一次冷却水使用量		標準設定23cc/sec (15~26cc/sec) 抽出量により使用する1次冷却水総量は異なる
コンプレッサー出力		AC200V 50/60 Hz 250W
冷媒ガス		R134a 200g
保安装置		冷凍機過負荷保護装置、圧力スイッチ 過昇温度防止サーモ (温水タンク)
その他機能		<ul style="list-style-type: none"> ・自動立ち上げ/停止タイマー (定休日・2曜日設定・日付・3日付設定付き) ・ファンネルロック検知機能 ・コーヒー取出 重量式フォーセットレバー ・コーヒータンク半自動 (排水は手動) 洗浄機能 ・浄水器交換時期警告表示 ・各種エラー表示

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品

【はじめに、下記の付属品がそろっているかチェックしてください。】

No.	品 名	No.	品 名
1	酸素系漂白剤「バブルクリーン」 (500g)	5	ステンレスフレキシブルホース (排水用 3/4 1.0m)
2	取扱説明書	6	フォーセットオーリング
3	計量カップ (洗浄用)	7	フォーセット
4	ステンレスフレキシブルホース (給水用 1/2 1.0m)		

〈別売品〉

1. 浄水器ヘッド (エバピュアQC7型 異径ニップル3/8×1/2付)
2. 浄水器カートリッジ (7CB5-S)

エフ・エム・アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

● 保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。
その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

● 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店が「無料修理」いたします。
- 無料修理を受ける場合は、お買上げ店にご依頼のうえ、出張修理に際しまして本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合には「有料修理」となります。
 - ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - 車輛、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
 - お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障および損傷。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 消耗部品は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

● 修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）

当社では、本製品修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を販売打ち切り後8年とさせていただいております。修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

品 名		アイスコーヒーマシン		
型 式		ICM3000	製造番号	
お 客 様	ご芳名	様		
	ご住所	〒 TEL ()		
お買上げ店	店名・住所			
お買上げ日	年 月 日	無料修理保証期間	お買上げ日より1年間	

株式会社エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営 業 所 札 幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛 岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四 国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>